

愛知二師教諭

千葉香取郡小御門農教諭

福岡師教諭

東京府立青梅農林教諭

○明治四十三年
三月卒業撰

科

山口德基高女 (農學、植物) 山下 莞爾(熊本)
石川師教諭 (教育、化學) 後藤源太郎(山形)

○明治四十三年
十二月卒業本

科

數物化學科 (死亡) △淺沼喬(東京)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

○明治四十四年
三月卒業

研究科 (二箇年課程)

埼玉縣理事官

滋賀師教諭

東京私立曉星中教員

支那山東濟南高師教習

○明治四十四年
三月卒業

研究科 (一箇年課程)

長谷川 榮(福島)

京都府教育會附屬教員養成所講師 西岡 彰夫(和歌山)

中山 久吉(靜岡)

木内久三郎(千葉)

宮澤 松哉(長野)

森 健次郎(滋賀)

靜岡巴實高女教諭

群馬師教諭

奈良師教諭

佐野 隆壽(靜岡)

岸 川 正(長崎)

柴山林二郎(栃木)

鈴木 靜植(愛知)

朝鮮京畿道江華公立普通(農學、植物) 山下 傳三郎(京都)

校長兼公立簡易農工長 (死亡)(農學、植物) 城 本 續(熊本)

伊藤 昌庸(山形)

新帶國太郎(愛知)

松原 久安(鳥取)

福山 惟吉(熊本)

東京高師訓導

東京青山師教諭

新潟新發田中教諭

二宮 文右衛門(愛媛)

上加世田成吉(鹿児島)

福田 源藏(熊本)

秋田高女教諭

京都何鹿郡立女實業教諭

朝鮮京城教諭

東京高師講師

秋田師教諭

北海道札幌第一中教諭

太田 喜八郎(山形)

中村 甚衛門(新潟)

藤井 友吉(福岡)

兒島 基德(大分)

青木 常雄(茨城)

相澤 留五郎(秋田)

椎名 安藏(福島)

三重師教諭

群馬女師教諭

高知二中教諭

長崎師教諭

和歌山師教諭

兵庫師教諭

沖繩師教諭

新美 省吾(愛知)

大河原 欽吾(群馬)

竹中 常喜(高知)

山口 亮三(長崎)

福岡 俊次郎(島根)

櫻井 季(神奈川)

日野 顯立(山形)

長崎佐世保高女教諭

石田 理一(千葉)

東京帝大文科大學生

愛知岡崎高女教諭

東京高師助教諭

東北帝大理科大學助手

朝鮮平壤女高普教諭

滋賀彦根中教諭

神奈川師教諭

長野大町中教諭

山梨師教諭

埼玉師教諭

長野飯田中教諭

奈良櫻井高女教諭

新潟高女教諭

東京青山師教諭

岩手師教諭

英語部

西 卷 南 平(新潟)

堀 野 竹 松(長野)

萩 野 素 助(神奈川)

田代 慎 思 郎(新潟)

推 野 佐 玄(山梨)

小 林 政 吾(岐阜)

宮田 仲 太 郎(新潟)

鈴木 木 鷗 吉(茨城)

石井 金 太 郎(千葉)

○明治四十四年
三月卒業本

國語漢文部

科

遠山 禮治(靜岡)

岡田 真治(東京)

山 内 篤(福井)

二見 延治(神奈川)

青山 新一(岐阜)

安藤 文 郎(福島)

喜多 幡 薫(和歌山)

森下 菅 根(高知)

秋田高女教諭

京都何鹿郡立女實業教諭

朝鮮京城教諭

東京高師講師

秋田師教諭

北海道札幌第一中教諭

太田 喜八郎(山形)

中村 甚衛門(新潟)

藤井 友吉(福岡)

兒島 基德(大分)

青木 常雄(茨城)

相澤 留五郎(秋田)

椎名 安藏(福島)

三重師教諭

群馬女師教諭

高知二中教諭

長崎師教諭

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十四年)

| | | | |
|-------------|------------|---------------|------------|
| 東京高師助教諭兼訓導 | △石黒魯平(愛知) | 静岡市商教諭 | △池島勝之介(茨城) |
| 新潟長岡女師教諭主事 | △原澤義太郎(群馬) | 愛知碧海郡視學 | △千葉壽胤(千葉) |
| 熊本八代中教諭 | △大森元幸(富山) | | △柿崎丈七(秋田) |
| 警視廳警部 | △横尾惣三郎(群馬) | 山形女師教諭兼山形高女教諭 | △高田徳(栃木) |
| 京都第二高女教諭 | △武井繁太(徳島) | 東京帝大大學院學生 | △土田誠一(秋田) |
| 福岡豊津中教諭 | △長井晋(千葉) | 大阪金臨尋小訓導兼校長 | △村田次郎(京都) |
| 青森弘前中教諭 | △村手鼎(愛知) | 千葉成東中教諭 | △上野芳男(岩手) |
| 東京高師助教授 | △上野篤(鹿児島) | 大阪東區第二高小訓導 | △山際格藏(大阪) |
| 熊本玉名中教諭 | △藤井曆治(岡山) | 東京青山師教諭 | △小林徳太郎(京都) |
| 東京私立京華中教諭 | △佐武林藏(鳥取) | 山梨甲府中教諭 | △荒木秀一(栃木) |
| 千葉安房中教諭 | △島田金治(新潟) | 徳島撫養中教諭 | △島内種吉(佐賀) |
| 福島會津中教諭 | △菅原融(山形) | | |
| 地理歴史部 | | | |
| 静岡濱松師教諭 | △石井午二(静岡) | 千葉師教諭 | △戸田克己(岡山) |
| 東京帝大法科學生 | △大塚良治(埼玉) | 佐賀中教諭 | △小野市郎(佐賀) |
| 東京帝大大學院學生 | △綿貫哲雄(群馬) | 島根杵築中教諭 | △田村靖(東京) |
| 兵庫私立中鳳鳴義塾教員 | △津田儀作(京都) | 滋賀彦根中教諭 | △村上秀一(京都) |
| 徳島師教諭主事 | △松島茂三(三重) | 京都師教諭 | △藤森勝郎(長野) |
| 佐賀小城中教諭 | △福山重吉(佐賀) | 岡山後月郡井原高女教諭 | △天澤高太郎(新潟) |
| 山形酒田高女教諭 | △佐藤牛平(群馬) | 兵庫神戸第一中教員 | △北垣楨之助(兵庫) |
| 臺灣總督府中教諭 | △水口民次郎(京都) | | |

數物化學部

| | | | |
|---------------|-------------|-----------------|-------------|
| 東京豊島師教諭 | △石原幸之助(廣島) | 滋賀師教諭 | △袴田集義(千葉) |
| 長崎高女教諭 | △花岡元吉(山口) | 東京第三中教諭 | △西田留吉(岐阜) |
| 東京明治小訓導 | △渡邊英雄(兵庫) | 山口下關商業校教諭 | △谷内讓(富山) |
| 廣島中教諭 | △筒井捨次郎(京都) | 廣島吳中教諭 | △大和竹治(高知) |
| 群馬前橋高女教諭 | △松本寛次(兵庫) | 京都五中教諭 | △江見豊治(岡山) |
| 青森師教諭 | △朝香四郎(群馬) | | △三浦新重郎(新潟) |
| | △廣田鋭八郎(青森) | 奈良女高師訓導 | △廣瀬實造(岐阜) |
| | | (以上數學物理ヲ主トスルモノ) | |
| 三重高女教諭 | △別所源太郎(三重) | 愛知二中教諭 | △中条静一(三重) |
| 神奈川工業教諭 | △大久保鹿次郎(三重) | | △大倉正三郎(三重) |
| 熊本女師教諭 | △岡田良一(栃木) | 宮崎師教諭 | △岡健壽(栃木) |
| 東京第二中教諭 | △小野三郎(千葉) | 京都私立商工學教員 | △渡邊彦兵衛(愛知) |
| 福岡高女教諭 | △加藤榮五郎(福井) | 愛知女師教諭 | △田中兵二(三重) |
| 東京女師教諭兼第二高女教諭 | △田中三郎(新潟) | 静岡沼津中教諭 | △中島嘉之吉(神奈川) |
| 福岡女師教諭 | △中島直吉(福岡) | 長野飯山中教諭 | △海野洋(山梨) |
| 鹿兒島師教諭 | △植村良男(和歌山) | | (死亡) |
| 島根濱田中教諭 | △栗原徳長(島根) | 新潟長岡高女教諭 | △工藤由之助(山形) |
| 兵庫私立中學鳳鳴義塾教員 | △三田主市(兵庫) | 東京青山師教諭 | △淺田正樹(新潟) |
| | | (以上物理化學ヲ主トスルモノ) | △廣瀬政次(埼玉) |

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十四年)

博物學部

| | | | |
|-------------------|------------|---------------|------------|
| 東京赤坂氷川尋常小校長兼訓導 | △井上滋次郎(富山) | 東京根津小訓導 | △波邊年(東京) |
| 臺灣臺南中教諭 | △高木周藏(新潟) | 石川鳳至郡立教員養成所教師 | △松田龜吉(群馬) |
| 栃木佐野中教諭 | △小林繁樹(島根) | 三重三中教諭 | △青樹信(愛知) |
| 千葉佐倉中教諭 | ○赤沼覺郎(長野) | 東京高師助教諭 | △阿妻利八(福島) |
| 新潟高田師教諭 | △荒川信吉(栃木) | 大阪高津小訓導兼校長 | △宮川富次郎(愛知) |
| 東北帝國大學農大學生 | △杉浦德治郎(兵庫) | 愛知第一高女教諭 | △杉野秀二(愛知) |
| ◎明治四十四年 文科兼修體操專修科 | | | |
| 朝鮮京城專修教諭 | △高橋虎彦(高知) | 岐阜師教諭 | △田淵忠三郎(佐賀) |
| 朝鮮京城中教諭 | △瀧田和三郎(山梨) | 東京高師助教諭 | △村上邦夫(熊本) |
| 東京高師助教諭 | △森本角藏(鳥取) | (以上國語漢文兼修ノ部) | |
| 和歌山田邊中教諭 | △飯島仁作(神奈川) | 神奈川師教諭 | △高山潔(長野) |
| 沖繩師教諭 | △小林東一郎(兵庫) | 岐阜中教諭 | △木庭源三(熊本) |
| 山口高女教諭 | △蘆田五郎(京都) | (以上英語兼修ノ部) | |
| 鹿兒島師教諭 | △宮原信吾(福岡) | 山口高女教諭 | △深水重盈(熊本) |
| 山形米澤中教諭 | △新田勇(福島) | 兵庫姫路師教諭 | △有方新治(兵庫) |
| 福島磐城中教諭 | △平賀仙三郎(福島) | (以上地理歴史兼修ノ部) | |
| ◎明治四十四年 數學專修科 | | | |

| | | | |
|--------------|------------|-----------------|------------|
| 岐阜大垣高女教諭 | △岩田千之(岐阜) | 千葉大多喜中教諭 | △伊藤仙藏(千葉) |
| 山口師教諭 | △細川隆雄(香川) | 岐阜農林校教諭 | △星野半五郎(愛知) |
| 廣島私立廣陵中教員 | △緒方純三郎(福岡) | 大分大分中教諭 | △小島三郎(埼玉) |
| 千葉中教諭 | △田村萬次郎(静岡) | 東京私立立教高女教員 | △田上市之丞(長野) |
| 茨城水戸高女教諭 | △山島藤治郎(京都) | 宮城古川中教諭 | △山本徳七(三重) |
| 廣島師教諭 | △松川正次郎(福島) | 福岡嘉穂中教諭 | △福井省三(静岡) |
| 新潟佐渡中教諭 | △小島芳衛(新潟) | 石川小松中教諭 | △紺井彌三郎(石川) |
| 新潟長岡女師教諭 | △阿部三郎(群馬) | 東北帝大理科大學學生 | △佐藤定吉(埼玉) |
| 東北帝大理科大學學生 | △佐藤喜作(千葉) | 東北帝大理科大學學生 | △柴田寛(千葉) |
| 宮崎師教諭 | △砂川精一(東京) | ◎明治四十四年 圖畫手工專修科 | |
| ◎三月卒業 | | | |
| 富山師教諭 | △原田隆誦(新潟) | 廣島高師訓導兼教諭 | △堀孝雄(三重) |
| 臺灣國語學校助教諭 | △梅村好造(佐賀) | 京都師教諭 | △大倉征次郎(岡山) |
| 静岡濱松師教諭 | △小倉隆藏(岐阜) | 大阪池田師教諭 | △河野啓暉(愛媛) |
| 廣島高師訓導 | △吉田俊造(富山) | 臺灣臺中教諭 | △高野雪治(新潟) |
| 福建省福州府高師學堂教習 | △田村美壽(山梨) | 東京日日新聞記者 | △爲藤五郎(福岡) |
| 島根女師教諭 | △板垣繁樹(島根) | 長崎師教諭 | △成田信一郎(愛知) |
| 奈良女高師訓導 | △小林吉平(新潟) | 學習院助教諭 | △黒田芳生(熊本) |
| 東京雙島師教諭 | △山掛大次郎(鳥取) | 愛知女師教諭 | △牧ヶ野教信(岐阜) |
| 群馬師教諭 | △古屋正壽(山梨) | (死亡) | |
| | | | △白石龍太郎(栃木) |

熊本實高女教諭 東 仁彦(熊本)

三重女師教諭 鈴木 猶吉(三重)

○明治四十四年 撰 科

廣島豐田女子技藝教諭(歴史) 菅野 敬吉(静岡)

○明治四十五年 撰 科

大阪私立桃山中教員 長谷川 榮(福島)

○明治四十五年 撰 科

宮崎都城中教諭 池袋 宗行(鹿児島)

滋賀師教諭 新帶國 太郎(愛知)

大阪東區第二高小訓導 柿崎 丈七(秋田)

○明治四十五年 撰 科

東京帝大法科生 山際 格藏(大阪)

鹿兒島師教諭 會澤 龍平(奈良)

東京帝大法科生 島岡 浩一郎(群馬)

滋賀師教諭 平木 吉治郎(滋賀)

山口豊浦高女教諭(地理、歴史、高田 道(福岡)

東京第二中教諭(教育、數學) 遠藤 三千次(群馬)

東京高師助教諭兼訓導 石黒 魯平(愛知)

京都私立商工教員 渡邊 彦兵(愛知)

島根松江中教諭 勝田 新之助(千葉)

東京高師助教諭 阿妻 利八(福島)

岡山師教諭 佐々木 金久(高知)

東京高師助教諭 森本 角藏(鳥取)

長野松本中教諭 岩本 義恭(長野)

京都與謝郡立高女教諭 池田 哲三(茨城)

静岡濱松師教諭 黒岩 胤高(高知)

東京高師訓導 大野 佐吉(兵庫)

朝鮮京城中教諭 吉岡 鹿二郎(徳島)

岩手福岡中教諭 佐藤 新作(長野)

埼玉師教諭 佐成 謙太郎(滋賀)

三重第二中教諭 宮澤 半介(長野)

學習院講師 平野 孝(愛知)

福井中教諭 岩 脇 莞爾(三重)

静岡中教諭 稻葉 三郎(栃木)

本校研究科生 堀江 佐助(島根)

佐賀師教諭 渡邊 弘(岐阜)

島根濱田中教諭 神澤 諭司(長野)

鹿兒島女師教諭兼二高女教諭 古澤 肥後男(熊本)

福井武生中教諭 小森 丹治(福岡)

地理 歴史部 相澤 次郎(神奈川)

島津 秀夫(長野)

東京豊島師教諭 井上 宗助(東京)

東京青山師教諭 本田 末吉(茨城)

静岡師教諭 長 徳太郎(静岡)

宮崎都城高女教諭 河西 三吉(長野)

長野飯田高女教諭 山下 毅一郎(静岡)

東京高蠶絲師 坂井 衡平(長野)

千葉師教諭 結城 權兵衛(新潟)

福岡中學修館教諭 日比 生忠(福岡)

新潟工業校教諭 市瀬 九二三(長野)

千葉成東中教諭 石崎 政治郎(千葉)

埼玉師教諭 岡田 正徳(三重)

埼玉師教諭 河村 亮(岐阜)

千葉佐原中教諭 吉田 庫造(埼玉)

鹿兒島二鹿兒島中教諭 藤島 保(山口)

千葉女師教諭 小椋 山久作(福島)

荒井 清文(栃木)

目賀田 廉一(千葉)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(明治四十五年)

奈良師教諭
 沖繩師教諭
 本校研究科生
 熊本師教諭
 埼玉川越高女教諭
 京都師教諭
 岐阜高女教諭
 京都五中教諭
 新潟長岡中教諭
 和歌山新宮中教諭
 兵庫神戸二中教諭
 徳島富岡中教諭
 兵庫姫路師教諭
 神奈川師教諭
 廣島吳中教諭
 兵庫姫路中教諭
 茨城土浦中教諭
 岡山師教諭
 長崎中學猶興館教諭

△二宮榮春(愛媛)
 △垂野光久(鹿兒島)
 △田中啓爾(福岡)
 △山田恒治(兵庫)
 △正木貞二郎(千葉)
 △峰田龜太郎(静岡)
 △平松定太郎(愛知)
 △泉清藏(京都)
 △高橋林吉(廣島)
 △六車茂(香川)
 △窪田公平(和歌山)
 △山下美一(三重)
 △小林元次(兵庫)
 △平田芳亮(富山)
 △稻葉繁二(栃木)
 △長谷川清山(形)
 △沼田龜之介(茨城)
 △櫻木竹治(岡山)
 △吉島虎一(長崎)

石川師教諭
 群馬師教諭
 茨城縣視學
 大阪堺中教諭
 福島師教諭
 大阪天王寺師教諭
 △岡磯彦(大分)
 △高畑淺次郎(滋賀)
 △長沼亨(茨城)
 △松岡萬次郎(熊本)
 △相原賢藏(神奈川)
 △宮本藤(茨城)

熊本中教諭兼大江尋小訓導
 京都帝大理工科大學々生
 東京女師教諭兼第二高女教諭
 神奈川師教諭
 宮城築館中教諭
 △吉岡時藏(京都)
 △永井眞夫(熊本)
 △黒木長太郎(宮崎)
 △栗林誠之助(茨城)
 △小林伊三郎(三重)
 △小林清治(岩手)
 △石田藤吉(佐賀)
 △豊永省三(群馬)
 △河島英夫(京都)
 △賀須井千鳥(取)
 △村田卓爾(山形)

數物化學部

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)

群馬藤岡中教諭
 埼玉師教諭
 奈良師教諭

△黒澤正三郎(埼玉)
 △山崎孝長(野)
 △齋藤丈夫(秋田)
 (以上物理化學ヲ主トスルモノ)

静岡師教諭
 長崎佐世保中教諭
 福島安積中教諭
 △山田武治(福井)
 △安間愼三(静岡)
 △坂本善作(栃木)

博物學部

神奈川師教諭
 千葉私立成田中教員
 朝鮮京城中教諭
 京都第二高女教諭
 茨城土浦中教諭

△井上權治(滋賀)
 △黒土四郎(青森)
 △藤見睦治(静岡)
 △北甚一郎(石川)
 △關根壺次郎(埼玉)

東京私立早稻田中教員
 鹿兒島女師教諭
 兼第二高女教諭
 東京松江小訓導兼校長
 臺灣總督府中教諭
 △龜田定方(東京)
 △山口謙次(佐賀)
 △朝倉茂(東京)
 △美間正道(山口)

明治四十五年三月卒業撰科

東京私立日本中教員(教育化學)
 東京華南女師常小校訓導(教育化學)
 上野友助(鹿兒島)
 佐藤三善(福島)

山口周陽中教諭(教育數學)
 安藤則太郎(岐阜)

大正二年專攻科修身漢文部

仙臺陸軍地方幼年學校教授
 鳥取倉吉中校長
 東京高師講師
 三重二中教諭

橋本文壽(福島)
 勝島林藏(富山)
 内野合嶺(神奈川)
 黒田傳次郎(静岡)

東京高師講師
 東京私立明治中教員
 高知師教諭主事
 東京私立明治學院教員
 △萩原擴(長野)
 △竹林貫一(群馬)
 △下部岩太郎(廣島)
 △熊坂圭三(神奈川)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正二年)

東京豊島師教諭 久米卯之彦(東京)
 福島會津中教諭 近藤正治(新潟)
 東京私立日本大學中校教員 峯間信吉(東京)
 長野松本中教諭 矢澤邦彦(長野)
 京都帝大文科大學々生 佐藤廣治(福島)
 東京私立青山學院教授 神逸郎(青森)

◎大正二年 研究科(一箇年課程)

三重第二中教諭 岩脇莞爾(三重)
 廣島私立山中高女教員 梅林寺勝三(埼玉)
 東京高師訓導 大野佐吉(兵庫)
 山形新庄中教諭 大坂竹治(宮城)
 東京芝區御田高小訓導 舟橋宜哉(愛知)
 栃木女師教諭 青木辰治(山形)
 福島會津中教諭 菅原融(山形)
 靜岡市商教諭 池島勝之介(茨城)
 濱野知三郎(廣島)
 大倉正三郎(三重)
 能勢頼俊(山梨)
 小林政吾(岐阜)
 宮川泉(長野)

◎大正二年 本科

國語漢文部

青森中教諭 豐田信勝(福島)
 石川女師教諭兼第二高女教諭 渡邊節治(新潟)
 山梨師教諭 古田庄治(富山)
 京都帝大文科大學學生 高野久太郎(熊本)
 鹿兒島第二鹿兒島中教諭 田村二十一(新潟)
 長野師教諭 土屋彌太郎(長野)
 群馬師教諭 群馬師教諭
 岩手師教諭 岩手師教諭
 北海道釧路中教諭 北海道釧路中教諭
 大阪堺高小訓導 大阪堺高小訓導
 兵庫神戸高女教諭 兵庫神戸高女教諭
 長崎佐世保中教諭 長崎佐世保中教諭
 △和歌山春吉(新潟)
 △河内平治(栃木)
 △高橋健二郎(新潟)
 △高山直通(宮崎)
 △竹澤陸(石川)
 △野口三千春(熊本)

愛知一師教諭 野島茂作(静岡)
 山口室積師教諭 松浦繁太郎(佐賀)
 新潟師教諭 近藤兵庫(新潟)
 北海道札幌高女教諭 富澤治作(福井)
 千葉佐倉中教諭 西村忠雄(佐賀)
 福島師教諭 西牧盛雄(福島)
 京都帝大文科大學學生 本多莞爾(長崎)
 熊本鹿本中教諭 德王親吉(福岡)
 熊本商業教諭 小野平六(大分)
 京都帝大法科大學學生 田村德治(秋田)
 京都帝大法科大學學生 對木重信(愛知)
 東京水川小訓導 山本勘助(三重)
 京都帝大文科大學學生 松岡文七(香川)
 廣島三原女師教諭 松本健之助(京都)
 大分竹田中教諭 溝口九二五(岡山)
 山口萩中教諭 廣田近三(大阪)
 地理歴史部 井東豊彦(茨城)
 宮城師教諭 石川義次(東京)
 北海道師教諭 石田恭造(島根)
 大分富田林中教諭 大阪富田林中教諭
 愛知二師教諭 愛知二師教諭
 長野飯田中教諭 長野飯田中教諭
 静岡市立静岡商教諭 静岡市立静岡商教諭
 新潟高田師教諭 新潟高田師教諭
 京都帝大法科大學學生 京都帝大法科大學學生
 栃木佐野中教諭 栃木佐野中教諭
 大分中津中教諭 大分中津中教諭
 青森師教諭 青森師教諭
 滋賀膳所中教諭 滋賀膳所中教諭
 福島中教諭 福島中教諭
 北海道函館師教諭 北海道函館師教諭
 香川大川中教諭 香川大川中教諭
 徳島師教諭 徳島師教諭
 △前田高四郎(神奈川)
 △小林義宥(山梨)
 △荒木文三(栃木)
 △白井繁太郎(香川)
 △西野正吉(茨城)
 △新里文八郎(岩手)
 △木田政雄(熊本)
 △富田義介(山口)
 △甲斐操(福島)
 △武谷成通(福岡)
 △中島眞孝(埼玉)
 △谷島彦三郎(茨城)
 △松永茂雄(香川)
 △佐々田廣(秋田)
 △三浦林平(徳島)
 △平出眞九郎(兵庫)

新潟高田師教諭 井東豊彦(茨城)
 宮城師教諭 石川義次(東京)
 北海道師教諭 石田恭造(島根)
 群馬高崎高女教諭 群馬高崎高女教諭
 岐阜大垣中教諭 岐阜大垣中教諭
 埼玉熊谷高女教諭 埼玉熊谷高女教諭
 △五十嵐米八郎(新潟)
 △石田登(群馬)
 △林正躬(千葉)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正二年)

文部省囑託
山梨中郡留郡瑞穂小訓導
兼校長
沖繩一中教諭
警視廳警部
島根女師教諭
群馬沼田中教諭

數物化學部
秋田師教諭
山形師教諭
群馬藤岡中教諭
京都師教諭
東北帝大理科大學學生
大分佐伯中教諭
愛知二師教諭

沖繩師教諭
山梨都留中教諭
岡山女師教諭
北海道札幌師教諭
高知一中教諭
樺太中教諭

△堀内林平(長野)
△豐川善(沖繩)
△富田傳(福井)
△大久保留次郎(茨城)
△中川清喜藏(三重)
△齋藤喜代松(栃木)

山梨師教諭
福島中教諭
群馬師教諭
愛知名古屋一高小訓導
高知一中教諭
奈良師教諭

廣島尾道市立高女教諭
山形新庄中教諭
群馬師教諭
大阪泉南高女教諭
大阪市立甲種商業校教諭

△保坂(山梨)
△富岡貫一(兵庫)
△大館三(高知)
△吉岡義雄(新潟)
△山極二郎(長野)
△木戸達夫(石川)

△井上(栃木)
△恩田五郎治(栃木)
△上山道造(栃木)
△上野市太郎(山梨)
△會田健治(新潟)
△清水(長野)

△出射(榮岡山)
△西田傳五郎(三重)
△小川(山梨)
△渡邊季雄(熊本)
△吉田彌三(福岡)
△長畑順一郎(福岡)

和歌山師教諭
東京私立精華高女教員
兵庫第二神戶中教諭
栃木中教諭

博物學部
青森師教諭
福岡高女教諭
東北帝大理科大學學生
和歌山師教諭
大分臼杵中教諭

○村山省吾(新潟)
○山岡勘一(長野)
○遠藤輝(岡山)
△島田熊三郎(滋賀)
△隅田忠男(高知)

東京高師助教授兼訓導
和歌山中教諭
京都帝大理科大學生

△谷田澤隆甫(靜岡)
△山本嘉一(愛知)
△光本長之進(山口)
△四手井次太郎(鳥取)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

◎大正二年卒業文科兼修體操專修科

東京高師助教授
大阪天王寺中囑託
福島會津中教諭

宮城師教諭
栃木師教諭

△大谷武一(兵庫)
△町野彝吉(熊本)
△甲佐知定(宮崎)
△鈴木龜一郎(福島)

(以上國語漢文兼修ノ部)

山形師教諭
千葉安房中教諭
滋賀師教諭

△杉山豐次(靜岡)
△岸村金次郎(神奈川)

△原(北海道)
△西村昇(福岡)
△渡邊萬次郎(福島)
△舟橋(茨城)
△鈴木清美(福島)

新潟新發田中教諭
本校研究科生
本校研究科生
東北帝大理科大學生

△橋本(愛知)
△本多彦九郎(福岡)
△長尾巧(福岡)
△赤岡純一郎(長野)

△神山峰吉(栃木)
△藤井文藏(熊本)
△平山誠寬(埼玉)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正二年)

福岡師教諭 (以上英語兼修ノ部)
 今井學治(群馬) 香川女師教諭
 茨城龍ヶ崎中教諭 田島仁平(埼玉) 朝鮮京城高普通教諭
 樺太中教諭 中島清人(熊本) 東京豊島師教諭
 新潟新發田中教諭 杉山通太郎(埼玉) (以上地理歴史兼修ノ部)
 今木一郎(長野)
 辻重(高知)
 雜賀三省(千葉)

◎大正二年撰科
 東京市本所 (修身、教育) 大瀧正寛(山形) 宮城工業校教諭(國語、漢文) 村上才太郎(青森)
 本橋小訓導 (數學、體操)
 宮城女師教諭 (教育、體操) 青木千代作(靜岡)

◎大正二年撰科

國語漢文部
 兵庫私立關西學院教員 △中野傳治(東京)
 博物學部 箕浦忠愛(鳥取)

米國留學
 ◎大正二年撰研究科
 五月卒 佐藤利吉(岩手)
 東京私立成城中教員

◎大正三年專攻科

三月卒
 大正三年專攻科

英語部

學習院講師 稻葉三郎(栃木) 東京高師講師
 鳥取師教諭 橋本五作(山形) 高知第三中校長
 東京帝大文科大學生 田中文勝(埼玉) 青森中教諭
 茨城土浦中教諭 長尾忠三郎(鳥取) (死亡) 中村東二郎(東京)
 千葉成東中教諭 上野芳男(岩手) 福島會津中教諭
 東京高師講師 青木常雄(茨城) 東京私立聖學院中教員
 伊太利國立東洋語學校教員 下位春吉(東京) 鹿兒島川内中教諭
 大正三年撰研究科(一箇年課程)

富山師教諭 *五十嵐 卯太郎(新潟) 大阪女師教諭主事 *井上 一(宮崎)
 東京高師助教授 *大谷 武一(兵庫) 京都師教諭 *堤 政助(香川)
 兵庫私立關西學院教員 *中野 傳治(東京) 東京高師助教授兼訓導 *谷田澤隆甫(靜岡)
 沖繩高女教諭 *牧野 真平(岐阜) 新潟佐渡中教諭 *佐藤 諦觀(新潟)
 福井師教諭 *櫻井 信郎(茨城)

◎大正三年撰科

國語漢文部
 京都帝大文科大學生 △藤 西真(滋賀) 大阪女師教諭 △射手矢貞三(大阪)
 兵庫城崎郡立實高女教諭 △富山 忠義(兵庫) 和歌山日高郡立實高女教諭 △小澤 忠造(靜岡)
 富山師教諭 △高橋 理八郎(岩手) 高知師教諭 △武政 房吉(高知)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正三年)

岩手福岡中教諭
長野師教諭
東京高師助教授
愛知第一師教諭
大阪八尾中教諭
鹿兒島女師教諭
臺灣國語學校助教兼教諭

△中野長右衛門(廣島)
△務 齋 理 作(長野)
△桑 川 定 一(栃木)
△藤田豪之輔(秋田)
△有 賀 敦 義(山梨)
△岸 田 與 一(京都)
△白石良五郎(福岡)

熊本私立九州學院教員
熊本八代中教諭
新潟商業教諭
秋田中教諭
京都帝大文科大學生
鹿兒島川邊中教諭
鹿兒島女師教諭

△中 江 時 助(岡山)
△白 杵 東 嶼(熊本)
△古 山 宗 一(富山)
△福 士 百 衛(青森)
△佐 藤 鶴 吉(神奈川)
△宮 田 和 一(新潟)
△四 宮 茂(徳島)

英語部

島根師教諭
群馬師教諭兼女師教諭
岡山師教諭
鹿兒島二中教諭
三重四日市高女教諭
布哇中央學院教員
群馬藤岡中教諭
東京私立南高輪小校訓導
鹿兒島川内中教諭

△井上貫一(岡山)
△今西四良(奈良)
△大西太一(滋賀)
△金生喜造(福岡)
△高 木 隆(静岡)
△長尾宗次(鳥取)
△鶴 澤 孝(千葉)
△桑原龍太郎(廣島)
△秋 葉 隆(千葉)
△鈴木得二(岩手)

香川大川中教諭
福岡小倉中教諭
本校研究科生
茨城太田中教諭
本校研究科生
福島私立石川中教員
山口中教諭
熊本清々巽教諭
高知海南中教諭

△今井三郎(兵庫)
△堀 茂左衛門(滋賀)
△奥村卯之助(茨城)
△高橋英治(群馬)
△佃井久滿治(大阪)
△村越庄吉(福島)
△白田德衛(長野)
△松井秀男(福島)
△守分敏太(岡山)

栃木工業校教諭
愛知名古屋東白壁小訓導

△井上正(岡山)
△豐島松治(愛知)

長野野澤中教諭
本校研究科生

△石川藤八(神奈川)
△金栗四三(熊本)

地理歴史部

京都市立高女教諭
大分師教諭
兵庫神戸市立高女教諭
新潟長岡高女教諭
長野師教諭
島根濱田中教諭

△上治寅次郎(兵庫)
△田邊領一(廣島)
△山根徳太郎(大阪)
△牧島金三郎(神奈川)
△木暮安水(群馬)
△吉川芳洲(熊本)

青森師教諭
東京帝大文科大學生
東京女高師訓導兼助教諭
大分縣日田郡立工藝教諭
福岡師教諭

△吉木克己(高知)
△上野菊爾(佐賀)
△山本幸雄(山梨)
△江田一策(大分)
△木藤重徳(鹿兒島)

數物化學部

高知第一中教諭
山口豐浦中教諭
福岡師教諭
山形女師教諭兼高女教諭
京都帝大文科大學生
京都帝大理科大學生
大阪八尾中教諭
熊本第二師教諭

△市原哲夫(徳島)
△二階源市(山口)
△多田源二郎(新潟)
△黒金厚美(山形)
△藤 岡 茂(兵庫)
△荒 勝 文 策(兵庫)
△木 村 脩(岐阜)
△三野龜太郎(香川)

廣島私立修道中教員
本校研究科生
長野師教諭
三重師教諭
京都帝大理科大學生
東京高師助教諭
長崎師教諭

△晴山西松(岩手)
△高井憲夫(群馬)
△中澤伊與吉(新潟)
△久保佐一(廣島)
△福田光治(栃木)
△北川久五郎(北海道)
△三 上 徹 雄(青森)

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)

臺灣總督府編輯書記
筆師學校教諭
千葉縣木更津中教諭
石川女師教諭兼第二高女教諭
名古屋市立第二高女教諭

△石川清一(静岡)
△戸口倫策(和歌山)
△大西三充(岡山)
△鷲 尾 憲 治(兵庫)

廣島三原女師教諭
新潟新發田中教諭
千葉師教諭
滋賀彦根高女教諭

△本田乙之進(山口)
△友水謙二(福井)
△大谷彦九郎(福島)
△川口武男(神奈川)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正三年)

德島板野郡立實高女教諭
北海道札幌第二中教諭
鹿兒島師教諭
島根女師教諭
學習院助教

△吉田義一(德島) 大阪堺市堺高小校長
△中里壽彌(青森) 群馬太田中教諭
△上田恭平(岡山) 群馬富岡中教諭
△藤原菊藏(秋田) 宮城高女教諭
△阿藤 質(岐阜) 栃木中教諭
(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

○長井慶麿(大阪)
△那須正一(和歌山)
△山本俊一(和歌山)
△小林大右衛門(福岡)
△柘植貞次(福島)

博物學部

長崎女師教諭
東京青山師教諭
福岡小倉高女教諭
秋田本莊中教諭
茨城師教諭

△上地龜義(高知) 山口室積師教諭
△中泉正雄(茨城) 千葉師教諭
△野見山久市(福岡) 岡山私立興讓館中教員
△松本 正(廣島) 山形縣視學
△流石英治(山梨) 東京高師副手

△鶴羽松太郎(香川)
△中澤吉之助(群馬)
△山本金平(岡山)
△小林小四郎(長野)
△水野彌作(長野)

○大正三年業圖畫手工專修科

大分杵築中教諭
福岡師教諭
大分白葉中教諭
埼玉師教諭
愛知名古屋第一高小訓導
福岡女師教諭
岩手師教諭

△伊藤孝英(愛知) 愛知一師教諭
△東本貞治(兵庫) 南滿洲遼陽小訓導
△大和田 勝(茨城) 廣島三原女師教諭
△加藤邦造(埼玉) 大阪南區金剛小校訓導
△横井曹一(靜岡) 福島師教諭
△谷山義毅(福岡) 愛知第一師教諭
△根岸良治(埼玉) 岐阜女師教諭

△長谷川 規矩進(茨城)
△富田 秀法(富山)
△大村 守五(岡山)
△加納 釵一(愛知)
△吉岡 啓三(福井)
△土屋 修(靜岡)
△仲上 義雄(兵庫)

兵庫加古郡立高女教諭
臺灣國語學校助教
佐賀師教諭
臺灣國語學校助教兼教諭
京都女師教諭

△仲上秋三郎(兵庫)
△中野延輔(新潟)
△古屋亮壽(山梨)
△安東 豐作(大分)
△上甲 二郎(愛媛)

秋田師教諭
宮城女師教諭
熊本第二師教諭
石川女師教諭兼第二高女教諭
大阪木津第二小訓導

△中村正元(山形)
△山形 寛(福井)
△古賀 茂(福岡)
△齊藤 善治(富山)
△平井 暢二(靜岡)

○大正三年業選科

石川女師教諭 (手工)
東京市日本橋區 (修身、教育)
東華尋小校訓導 (修身、教育)
福岡直方高女教諭 (化學)

大阪八尾中教諭 (英語)
長崎對馬中教諭 (物理、化學)
福島白河郡立實科 (修身、教育、物理)

○大正三年業本

靜岡加茂郡立豆陽中教諭
米國留學

○大正三年業研究科 (一箇年課程)

箕浦 忠愛(鳥取)

○大正四年業研究科 (二箇年課程)

本校研究科生 本多彦九郎(福岡)

○大正四年業研究科 (一箇年課程)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正三年)

和歌山田邊中教諭
本校研究科生
大阪堺高小訓導
東京私立京華商業教授
東京高師助教授
學習院助教授
東京高師助教授

飯島仁作(神奈川)
金栗四三(熊本)
高山直通(宮崎)
竹原達乎(島根)
桑川定一(栃木)
阿藤質(岐阜)
北川久五郎(北海道)

沖繩一中教諭
大阪南區金瓶小校訓導
三重四日市高女教諭
長野小校訓導兼校長
山口高女教諭
東京牛込高小訓導

富田傳(福井)
加納銀一(愛知)
高木隆(静岡)
長尾宗次(鳥取)
町田芳三(長野)
蘆田五郎(京都)
森原正(島根)

◎大正四年本
三月卒業本科

國語漢文部

岡山私立關西中教員
神奈川私立橫濱實高女教員
福井小濱中教諭
靜岡富士實高女教諭
石川師教諭
香川師教諭
熊本第一師教諭
北海道函館師教諭
青森高女教諭兼女師教諭
沖繩高女兼女師教諭
和歌山工業教諭

伊藤謙一郎(千葉)
池田房一郎(岡山)
本多篤(栃木)
小野三郎(茨城)
金子彦二郎(新潟)
中川金之助(京都)
則包未廣(香川)
前川喜之助(富山)
福島輝三(北海道)
高妻虎男(宮崎)
蛭原源助(福島)

高知中學海南校教諭
福島磐城高女教諭
栃木工業教員
京都師教諭
北海道釧路中教諭
茨城師教諭
神奈川女師教諭
愛知農林教諭(一年志願兵)
愛知名古屋第二高女教諭
富山魚津中教諭
福岡農教諭

市川寬(愛知)
細見啓太郎(兵庫)
大久保二郎(福島)
大關増次郎(茨城)
吉田武夫(愛知)
上山熊之助(三重)
前藤信雄(新潟)
藤江勸二(兵庫)
小出弘隆(愛知)
小町谷常是(長野)
佐藤石太郎(新潟)

熊本私立九州學院講師
群馬太田中教諭

五月女清(茨城)
宮地雄吉(高知)

朝鮮仁川公立商教諭
群馬高崎高女教諭

吉川俊清(香川)
姫野亨(大分)

英語部

奈良師教諭
一年志願兵
愛知私立明倫中教員
熊本鹿本中教諭
愛知女師教諭
山口私立興風中教諭
京都帝大法科大學生
秋田中教諭
岡山矢掛中教諭

五十嵐秀(富山)
岡本均一(熊本)
葛西茂胤(兵庫)
村井榮藏(岐阜)
久保覺太郎(香川)
草間國五郎(茨城)
安島毅(茨城)
岸本達三(三重)
杉野芳郎(三重)

島根師教諭
福井小濱中教諭
福島尾之道商教諭
三重四日市商教諭
群馬藤岡中教諭
富山高女囑托
福島會津中教諭
静岡中教諭

石垣吉四郎(秋田)
加藤秀(宮城)
武政太郎(岡山)
宇佐見章(愛媛)
工富直(岐阜)
青木義正(富山)
齋藤寅吉(福島)
三田村一郎(福井)

地理歴史部

一年志願兵
愛媛女師教諭
愛媛師教諭
廣島中教諭
岡山私立順天高女教員
福島磐城中教諭

井上敬止(和歌山)
高橋文雄(秋田)
武井群嗣(群馬)
松田俊英(山形)
江頭六郎(福岡)
宮川經知(熊本)

長崎五島中教諭
福島師教諭
福岡柳河高女教諭
高知第三中教諭
朝鮮仁川公立商業專修兼高女教諭

奧秀三郎(東京)
高橋清之助(秋田)
中林義方(大阪)
藤林文輔(山口)
遠藤久廣(神奈川)

伊古美都郎(島根)
北海道札幌中教諭(一年志願兵)
石口重人(廣島)

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正四年)

長野中教諭 福島磐城中教諭 熊本八代中教諭 本校研究科生 鹿兒島女師教諭 京都帝大理科大學生 茨城土浦中教諭 朝鮮京城教諭 第一橫濱中教諭(一年志願兵)

廣瀨正雄(大分) 熊本天草中教諭 福岡浮羽郡立高女教諭

(以上數學物理ヲ主トスルモノ)

數物化學部

東京本所江東小訓導 栃木私立烏山中教員 愛知名古屋第一高小訓導 新潟村松中教諭 北海道旭川高女教諭 一年志願兵 本校研究科生 兵庫豐岡中教諭 栃木中教諭 長野飯田中教諭

伊南世澄(新潟) 堀野芳人(長野) 富田辨司(兵庫) 大場信可(岐阜) 小野栖平(北海道) 加藤鑑(石川) 神吉久兵衛(長崎) 田村讓(和歌山) 久米可秀(德島) 正木修(愛知)

京都南桑田高女教諭 北海道小樽中教諭 本校研究科生 福岡師教諭 埼玉女師教諭 靜岡女師教諭 滋賀八幡商教諭 青森弘前中教諭 石川金澤一中教諭 北海道函館師教諭

花田英太郎(佐賀) 星教宥(福島) 利行實(大分) 大川房吉(秋田) 平田義雄(靜岡) 加藤木風雄(茨城) 吉岡喜四郎(茨城) 栗原豐太郎(靜岡) 前田廣(福井) 藤木源吾(福岡)

長野松本中教諭 京都府加佐郡立高女教諭

博物學部

栃木中教諭 京都帝大文科大學生 福岡東筑中教諭 群馬太田中教諭 石川小松中教諭

阿部源三郎(山形) 鈴木不二雄(德島)

(以上物理化學ヲ主トスルモノ)

石川石川郡立小教員養成所 教員

堀口時香(群馬) 山口私立興風中教員 群馬師教諭 長崎佐世保高女教諭 東北帝大理科大學生 香川師教諭

鳥羽茂(長野) 永田四郎(靜岡) 松園弘見(長崎) 嵯峨一(岐阜) 清水善次郎(長野)

◎大正四年卒業文科兼修體操專修科

大阪堺中教諭 大阪天王寺中教諭 群馬師教諭 廣島高師助教授

原谷四郎(兵庫) 武田晴夫(德島) 橋本寬重(高知) 前田宋喜(熊本)

(以上國語漢文兼修ノモノ)

鳥取商教諭 熊本第二師教諭 和歌山新宮中教諭 一年志願兵

(以上英語兼修ノモノ)

長野松本女師教諭 東京第一高女教諭

野口源三郎(埼玉) 坂井俊三郎(長野)

北海道函館師教諭 靜岡師教諭

(以上地理歴史兼修ノモノ)

◎大正四年卒業數學專修科

三月卒業

第七章 卒業生 卒業年月及學科別(大正四年)

兵庫姫路師教諭
和歌山粉河中教諭

位田好(兵庫)
原田勝一郎(栃木)

群馬太田中教諭
大阪堺高女教諭

池上綱廣(島)
大石喬一(静岡)

大分臼杵中教諭
長野飯田中教諭

香取繁雄(岡山)
多久儀四郎(熊本)

北海道釧路中教諭
愛知第三中教諭

神谷仁(岡山)
常陰重五郎(兵庫)

奈良畝傍中教諭
神奈川横須賀中教諭

村上清(京都)
松本健(島根)

鳥取高女教諭
茨城鹿島郡視學

植木光男(鳥取)
松本次三郎(群馬)

東北帝大理科大學生
本校研究科生

兒玉利憲(鹿兒島)
鈴木正秋(群馬)

茨城鹿島郡視學
奈良五條中教諭

淺野丈夫(岡山)

◎大正四年選科

本校研究科生 (英語)

池端榮靜(岡)

東京私立芝(修身、教育)

佐藤善八郎(山形)

長野上田中教諭(修身、教育)

高野潮壽(新潟)

東京私立芝(修身、教育、數學)

佐々木英雄(島根)

三重鳥羽商船校教諭(數學)

佐々木猪之松(岡山)

◎大正四年本

地理歴史部

茨城師教諭

吉澤俊一(長野)

宮崎中教諭

佐野熊吉(高知)

廣島三次中教諭

博物學部
清水茂(長野)

東京高等師範學校卒業證書授與式 (大正四年三月三十一日)

| | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 山本 英一 | 山本 英二 | 山本 英三 | 山本 英四 | 山本 英五 | 山本 英六 | 山本 英七 | 山本 英八 | 山本 英九 | 山本 英十 |
| 山本 英十一 | 山本 英十二 | 山本 英十三 | 山本 英十四 | 山本 英十五 | 山本 英十六 | 山本 英十七 | 山本 英十八 | 山本 英十九 | 山本 英二十 |
| 山本 英二十一 | 山本 英二十二 | 山本 英二十三 | 山本 英二十四 | 山本 英二十五 | 山本 英二十六 | 山本 英二十七 | 山本 英二十八 | 山本 英二十九 | 山本 英三十 |
| 山本 英三十一 | 山本 英三十二 | 山本 英三十三 | 山本 英三十四 | 山本 英三十五 | 山本 英三十六 | 山本 英三十七 | 山本 英三十八 | 山本 英三十九 | 山本 英四十 |
| 山本 英四十一 | 山本 英四十二 | 山本 英四十三 | 山本 英四十四 | 山本 英四十五 | 山本 英四十六 | 山本 英四十七 | 山本 英四十八 | 山本 英四十九 | 山本 英五十 |
| 山本 英五十一 | 山本 英五十二 | 山本 英五十三 | 山本 英五十四 | 山本 英五十五 | 山本 英五十六 | 山本 英五十七 | 山本 英五十八 | 山本 英五十九 | 山本 英六十 |
| 山本 英六十一 | 山本 英六十二 | 山本 英六十三 | 山本 英六十四 | 山本 英六十五 | 山本 英六十六 | 山本 英六十七 | 山本 英六十八 | 山本 英六十九 | 山本 英七十 |
| 山本 英七十一 | 山本 英七十二 | 山本 英七十三 | 山本 英七十四 | 山本 英七十五 | 山本 英七十六 | 山本 英七十七 | 山本 英七十八 | 山本 英七十九 | 山本 英八十 |
| 山本 英八十一 | 山本 英八十二 | 山本 英八十三 | 山本 英八十四 | 山本 英八十五 | 山本 英八十六 | 山本 英八十七 | 山本 英八十八 | 山本 英八十九 | 山本 英九十 |
| 山本 英九十一 | 山本 英九十二 | 山本 英九十三 | 山本 英九十四 | 山本 英九十五 | 山本 英九十六 | 山本 英九十七 | 山本 英九十八 | 山本 英九十九 | 山本 英一百 |

附 録

第一 大正四年三月本校卒業證書授與式

一 文部大臣祝辭

東京高等師範學校卒業證書授與ノ式ヲ舉ケ我カ教育界ニ幾多新進有爲ノ材ヲ加ヘタルハ本大臣ノ欣フ所ナリ。

願フニ教育ハ國運發展ノ根柢ヲ培養スル所以ニシテ實ニ國家重要ノ事業タリ殊ニ諸子ノ是ヨリ事ニ從ハントスル所ハ國家ノ中堅タル國民ヲ養成スル中等教育ニアラスンハ國民教育ノ淵源タル師範教育ニシテ其ノ責任ノ大ナル今更嘏々ヲ要セス況ンヤ現下ノ時局ハ教育者ノ奮勵努力ヲ要スルコト特ニ緊切ナルモノアルニ於テヲヤ諸子宜シク深ク思フ茲ニ致シ常ニ研鑽ヲ勵ミテ時勢ノ進歩ニ後レス益々修養ヲ積ミテ人格ノ完成ニ努メ格勤勵精其ノ職ヲ盡シ躬行實踐子弟ヲ導キ以テ國運ノ發展ニ貢獻スル所アルヘシ

附屬中學校卒業生諸子諸子ハ本校ニ於テ既ニ高等普通教育ノ科程ヲ卒ヘタリ今ヨリ以後益

々心ヲ智徳ノ修養ニ潜メカヲ各自ノ志ス所ニ致シ身ヲ立テ功ヲ成シテ國民ノ本分ヲ盡サン
コトヲ期セヨ
一言以テ祝辭トス

文部大臣訓詞

大正四年三月本校卒業證書授與式

國

二 校長告辭

本校卒業生諸子諸子ハ今本校卒業生タルノ光榮ヲ得タノデアアルガ同時ニ又重大ナル責任ヲ
荷フコトニナツタコトヲ覺悟セネバナラヌ今日國際間ニ於ケル我が國ノ地位ヲ考ヘル時ハ
政治、産業、軍事、學藝ソノ他百般事ノ上ニ改善ヲ施シ擴張ヲ圖ル必要ノ甚大ナルコトヲ
感ズルノデアアル善良ナル政治ハ人格識見共ニ備ツタ議員ノ選舉ニ俟タネバナラヌコトガ多
イ然ルニ今日ノ選舉人ハ之ヲ識別スルニドレ程ノ注意ヲ用キテ居ルデアラウカ實ニ遺憾ノ
多イトイフ事ハ衆人ノ認ムル所デアアル是ハ畢竟選舉ハ國民ノ大切ナ權利デアアルノミナラズ
又義務デアアルトイフコトヲ切實ニ考ヘテ居ラント云フコトニ歸スルノデアアル之レヲ十分ニ
會得サセルノハ普通教育ノ力ニ賴ラネバナラヌ今日我が國ノ産業ノ意ノ如ク發達シナイノ
ハ之レニ從事スルモノガ目前ノ小利ヲ得ルニ汲々トシテ遠大ノ着眼ヲ缺キ己ヲ利スルコト
ヲノミ考ヘテ國家ノ爲公共ノ爲ヲ考ヘルコトガ薄イ即チ國民ニ道德的涵養ガ足ラナイト云
フ事ニ歸スルノデ之ヲ補フニハ矢張普通教育ノ力ニ俟タネバナラヌ比較的進ンデラる軍事
方面ニ於イテモ今日ノ現狀ヲ以テ満足スルコトガ出來ヨウカ、單ニ精神上ノ事ニツイテノ
ミ言ツテ見テモ徵兵ヲ忌避スルヤウナモノモアリ又現ニ軍務ニ就イテ居ルモノニテモ國ノ

爲ニ職務ノ爲ニ自己ノ利害ヲ後ニシ身命ヲ擲ツコトヲ顧ミナイト云フ精神ガ弛ンデ來タトイフ事ハ當局者カラモ聞ク言葉デアル此ノ獻身的精神ヲ作振スルニモ又普通教育ノ力ニ俟タネバナラヌ學藝ニオイテモ今日ノ狀態デ満足スルコトノ出來ナイソノ一端ハ獨逸トノ貿易ノ途ガ絶ヘタ爲ニ忽チ藥品染料機械等ノ得途ニ困窮シテ居ルトイフ事實ニ徴シテモ分ル此等ノ事ハ主トシテ専門的學術ニ依頼スベキ事デアルガ併シ又普通教育ガソノ根柢ヲ養ヒ好學心ヲ盛ニシナケレバ十分ナ效果ハ見ラレヌノデアアル、カウイフ譯デ將來我が國運ノ發展ハドレ程マデ普通教育ニ期待セネバナラヌカガ分ル

諸子ハ是カラ此ノ如キ重大ナル任務ニ就クノデアルカラ渾身ノ力ヲ奮ツテソノ事ニ當ラネバナラヌ、人ハ言フ普通教育ノ事業ハ重大ハ重大デアルケレドモ實ニ困難ナル事業デアツテソシテ結果ガ現レニクイトイフ、自分ハ思フ困難ナル事業デアルカラ有爲ノ人物ガ進ンデ當ルベキデアラウ、結果ガ立所ニ現レナイ事デアルカラ普通ノ人ハ躊躇スルデアラウガ遠キ見渡シノアル人コソ進ンデ就クベキデアラウト

併シ此ノ重大ナル任務ヲ完フスルニハ常ニ己ノ職務上ノ目的ヲ忘レテハナラヌ職務ニ忠實ナルト共ニ己ノ修養ヲ怠ツテハナラヌ常ニ周到ナル注意ヲ以テ事ニ從ヒ一舉一動遺憾ノナイヤウニ心掛ケネバナラヌ

附屬中學校卒業生諸子我が國ノ現狀ハ今述ベタ通デアアル我國ハイヅレノ方面ニ於イテモ新進有爲ノ士ヲ待ツコト最モ切ナノデアアル、諸子ノ多數ハ是カラ各種ノ高等ノ學校ヘ入ツテ、ナホ各々擇ブ所ノ學業ニ就クコトデアラウガ高等ノ學校ニ進ムト直ニ各自ノ業務ニ就クトニ別ナク諸子ハ本校ニ於テ受ケタ教育ノ精神ニ本ヅイテソノ事ニ當ラネバナラヌ

就中自分ハ今日ニオイテ如何ナル外物モ動スコトノ出來ヌ大丈夫ノ志ヲ養フコトノ必要ヲ認メル

ソコデ今孟子ノ語ヲ誦シテ特ニ諸子ニ告ゲヨウトオモフ

居天下之廣居立天下之正位行天下之大道得志與民由之不得志獨行其道富貴不能淫貧賤不能移威武不能屈此之謂大丈夫

三 學事報告

(一) 學事報告 (印刷頒布)

本日卒業證書授與式ニ當リ本學年ニ於ケル當校學事ノ特殊ナル事項ニ就キテ左ニ其ノ大要ヲ報告ス

第一本校

(一) 卒業生

今回本校ヲ卒業スヘキ者ハ

| | |
|------------|------|
| 研究科 | 十五名 |
| 本科 | 百七名 |
| 專修科 | 二十七名 |
| 撰科 | 五名 |
| 外國學生 (支那人) | 二十三名 |

合計百七十七名ニシテ之ヲ創立以來ノ卒業生ニ通算スレハ其ノ數實ニ三千六百九十七名ノ多キニ達セリ

(二) 生徒

本學年ニ於テハ豫科生百十四名體操專修科生七十名研究科生三十四名特別學生一名外國學生二十五名ヲ入學セシメタリ

來學年ニ於テハ文科生六十九名理科生五十一名體育科生四十名研究科生三十名外國學生二十五名ヲ入學セシムル豫定ナリ

今回卒業スヘキ者ヲ除キ本校生徒ノ現在數ハ五百一名ニシテ之ニ來學年ニ於テ入學セシムヘキ者二百十五名ヲ加フレハ來學年ノ始メニ於ケル本校生徒ハ七百十六名トナルヘキ豫定ニシテ其ノ内譯ヲ示セハ左ノ如シ

| | |
|-----|--------|
| 研究科 | 三十四名 |
| 本科 | 三百三十九名 |
| 文科 | 六十九名 |
| 理科 | 五十一名 |
| 體育科 | 四十名 |
| 專修科 | 九十九名 |
| 撰科 | 四名 |

特別學生(朝鮮人) 三名
外國學生(支那人) 七十七名

(三) 訓練

本校ニハ生徒監一名生徒監補助五名アリテ専ラ生徒訓育ノ任ニ當レリ
本校寄宿舎ハ本學年ニ於テモ昨年ニ引續キ寮及寮長制度ヲ廢シテ全ク校友會各部ノ組織ニ
一致セシメ校友會各部ノ主事委員カ其ノ部員ヲ率キテ相砥礪シ校友會幹事ハ又各部主事委
員ヲ率キテ一般ノ統轄管理ニ當リ身體鍛鍊ノ便宜ヲ圖ルト共ニ自ラ治ムルノ精神ヲ涵養セ
シムルニ努メシカ其ノ成績見ルヘキモノ尠カラズ但シ豫科ハ之ヲ三部ニ分チ各部室長中ヨ
リ其ノ部主事二名ヲ互選シテ校友會ノ部組織ニ準スルコト、セリ而シテ專修科生ヲ收容セ
ル第七寮ハ前年ト同シク分寮制度ヲ採レリ又新ニ入學セル體操專修科第一學年生ハ之ヲ指
定寄宿舎ニ收容シテ舍則ヲ準用シ以テ訓育修學上遺憾ナカラシムルコトヲ期セリ
寄宿舎ノ設備年々整頓シテ舊來ノ面目ヲ一新シタレトモ猶其ノ不備ヲ感スルハ寮舎ノ狹隘
ニシテ專修科生ヲモ同一構内ニ收容スル能ハサルコト是ナリ

(四) 學科改正 本校ノ學科ハ從來豫科本科及ヒ研究科トシ本科ヲ別チテ國語漢文部英語部
地理歴史部數物化學部及ヒ博物學部ト爲シタリシカ多年實施ノ經驗ト中等諸學校ニ於ケ

ル教員需要ノ趨勢トニ考ヘテ規則ヲ改正シ學科ヲ文科理科及ヒ研究科トシ文科理科ヲ更ニ
別チテ各三部トシ別ニ特科トシテ體育科ヲ置クコトトシ來學年ヨリ之ヲ實施シ以テ漸次地
方ニ於ケル教員需要ノ實際ニ適應シ優良ナル教員ヲ養成セントス

(五) 講習會

本校ハ卒業生ノ學力ヲ補充シ其ノ勤務上ノ指導ヲ爲サンカタメ毎年卒業生講習會ヲ開クコ
トヲ例トシ本學年ニ於テハ國語漢文科ヲ講習シ其ノ修了者五十一名ヲ出セリ之ニ既往ノ修
了者ヲ合算スレハ其ノ數二百八十名ノ多數ニ達ス本講習會ハ主トシテ本校卒業生ヲ召集シ
テ講習スルヲ趣旨トスレトモ當該學科ニ就キテ師範學校中學校高等女學校ノ教員免許狀ヲ
有スル者ハ志望ニ依リテ特ニ入會スルコトヲ許シタリ

文部省ノ委囑ヲ受ケテ本校内ニ開催セル中等諸學校教員講習會ハ本學年ニ於テハ前後三回
ニシテ手工、圖畫、柔道、劍道、及ヒ修身ノ諸科ヲ講習シ其ノ修了者合計三百八十二名ヲ
出セリ之ニ既往ノ講習會ヲ通計スレハ十七回ニシテ講習修了者ノ數實ニ二千二百八十九名
ノ多キニ達セリ

(六) 校友會

本學年ハ諒闇中ニ屬セルヲ以テ主トシテ校内ニ於ケル心身ノ鍛鍊ニ努メ只管謹慎ノ誠ヲ表

シタリ

本學年ニ於テ本會々員中有段者トナレル者ハ

柔道部

十八名

劍道部

二十二名

游泳部

九名

弓道部(允可)

二名

ニシテ之ヲ既往ノ者ト合算スレハ

柔道部

百十六名 (明治三十二年四月以降)

劍道部

百十二名 (明治四十一年十一月以降)

游泳部

四十一名 (明治三十六年七月以降)

弓道部

二十名 (明治四十三年三月以降)

トナレリ

第二 附屬中學校

本日附屬中學校ヲ卒業スヘキ者ハ六十八名ニシテ之ヲ創立以來ノ卒業者ニ加フレハ其ノ數實ニ一千二十三名ニ達セリ而シテ新卒業者ハ殆ト皆更ニ上級ノ學校ニ進マントスル者ニシ

テ就中高等學校ニ入學セントスル者過半ヲ占ム現在ノ生徒數ハ本日卒業スヘキ者ヲ除キニ百九十八名ニシテ之ニ來學年ニ入りテ入學セシムヘキ八十三名ヲ加フレハ總數三百八十一名ナリトス

教授ニ關シテハ各學科トモ引續キ其ノ研究ヲ進メ國語漢文科及英語科ニ於テモ略教材ノ研究ヲ結了シ次ノ學年ヨリハ之ヲ實地教授上ニ試ムルヲ得ルニ至レリ
訓練ニ關シテハ生徒互ニ相督勵シテ各自ノ義務責任ヲ自覺シ獨立自治ノ精神ヲ鞏固ニスルト共ニ共同一致益校風ヲ發揚セシメンコトヲ期シ豫テ其ノ方法ヲ定メテ之ヲ實施セシカ桐陰會各部ノ活動ト相待ツテ其ノ成績ノ見ルヘキモノ尠カラス尙益改進ヲ謀リ訓育ノ効果ヲシテ一層適切ナラシメンコトヲ期ス

第三 附屬小學校

今回附屬小學校ヲ卒業スヘキ兒童ハ總テ百八名ニシテ現在兒童ノ數ハ六百十三名ナリ之ニ來學年ニ入學セシムヘキ兒童百五十四名ヲ加フレハ總數七百六十七名ナリトス

教授上ニ於テハ第三部ニ於テ女子(晝間)尋常小學校補習科第一回卒業生ヲ出シ第二部ニ於テ前學年度ヨリ繼續シテ男女共學單式編成ノ尋常一學年ヲ一學級増設セリ
 訓練上ニ於テハ前學年度ノ方針ヲ繼續シテ益其ノ實行指導ヲ適切ナラシメ毎月一回講堂訓話ヲ行ヒ訓練上ノ統一ヲ圖リ春秋二回國民記念式ヲ行ヒ國民的思想ノ涵養ニ資シタル外每學期一回強行遠足ヲ舉行シ徒歩ヲ獎勵シテ以テ心身ノ鍛練ヲ圖リタリ
 研究事項ノ重ナルモノハ圖畫手工教授法、低能兒教育ノ効果、單級ニ於ケル讀方教授ノ實際、全日二部教授、教授段階ニ關スル研究、算術科應用問題ニ關スル研究、修身科ノ成績考查法、情的文章ノ取扱、小學校國語教授ノ根本問題、初學年ニ於ケル書キ方教授法、白痴ニ關スル研究、劣等兒ニ關スル研究、唱歌教授法ノ研究等ニシテ更ニ現今ノ哲學問題、文藝講話ノ講演會ヲ開キテ職員一同ノ研究ニ資シタリ
 右ノ外父兄懇話會ヲ催シテ家庭ト學校トノ連絡ヲ圖リ大運動會擬戰及普通遠足等ヲ舉行シタルコトハ例年ト異ナルコトナシ

第四 附屬東京教育博物館

東京教育博物館ハ明治二十二年七月以來本校ニ附屬セシカ大正三年六月本校ヨリ離レテ文部省ニ直屬スルコト、ナレリ

第二 東京高等師範學校々友會 (明治四十年十月二日 社團法人設立認可)

一 東京高等師範學校校友會定款

第一章 目的

第一條 本會ハ社團法人トナシ會員ノ精神ヲ修養シ身體ヲ鍛練シ以テ校風ヲ振作シ併セテ會員相互ノ親睦ヲ厚クスルヲ以テ目的トス

第二章 名稱

第二條 本會ハ東京高等師範學校校友會ト稱ス

第三章 事務所

第三條 本會ノ主タル事務所ハ之ヲ東京市小石川區大塚窪町貳拾參番地ニ設ク

第四章 會員資格及義務

第四條 本會ノ會員タルモノハ左ノ資格ノ一ニ該當スルモノタルコトヲ要ス

- 一 東京高等師範學校生徒
- 二 現在ノ東京高等師範學校職員
- 三 東京高等師範學校卒業生 舊高等師範學校卒業生及舊東京師範學校卒業生

四 前任ノ東京高等師範學校職員 舊高等師範學校職員及舊東京師範學校職員

第五條 前條ノ資格ノ一ニ該當スルモノニシテ本會會員タラントスルトキハ理事ニ申出テ其承認ヲ經ルヲ要ス

第六條 第四條ノ資格ニ該當セサルモノト雖モ本會ニ對シテ功勞アルモノハ理事ニ於テ特ニ之ヲ會員ニ推薦スルコトヲ得

第七條 會員ハ理事ノ承認ヲ經テ退會スルコトヲ得

第八條 會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚ス行狀アルモノハ理事ニ於テ之ヲ除名スルコトヲ得

第九條 會員タルモノハ總會ニ於テ定ムル所ノ規定ニ基キ所定ノ費用ヲ釀出スル義務ヲ有ス

第五章 理事

第十條 本會ニ理事一名ヲ置ク

第十一條 理事ニハ現在ノ東京高等師範學校長ヲ推薦シテ之ニ充ツ

第十二條 理事ハ會務ノ分掌ヲ定メ其主務者ヲ選任スルコトヲ得

第六章 總會

第十三條 定時總會ハ毎年一回之ヲ開ク

第十四條 總會招集ノ通知ハ東京高等師範學校内掲示場校友會誌及茗溪會發行ノ雜誌教育ニ公告シテ之ヲ行フ

但シ理事ニ於テ書面ヲ發シ又ハ新聞紙上ニ公告シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十五條 總會ニ於ケル表決ハ出席會員ニ限ル書面又ハ代理ヲ以テ表決ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條 總會ノ決議ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

但シ定款變更ニ關スル決議ハ在京會員ノ半數以上出席シ其出席員ノ三分ノ二以上同意アルヲ要ス

第七章 資産

第十七條 本會ノ資産ハ會員ノ出資及會員并ニ會員ノ外ノ寄附ヲ以テ成ル

第十八條 本會ノ資産ヲ分チテ通常財産及基本財産ノ二種トス

第十九條 本會ノ基本金ヲ以テ基本財産トナス

第二十條 基本金ハ會員カ基本金トシテ釀出スル金額會員并ニ會員以外ノ特定寄附金及本會々計剩餘金ノ蓄積ヲ以テ成ル

第二十一條 基本財産ノ元本ハ何等ノ場合ヲ問ハス之ヲ消費スルコトヲ得ス

第二十二條 基本金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ總會ノ決議ヲ以テ別

ニ之ヲ定ム

第八章 補則

第二十三條 本會ハ社團法人ノ登記ヲ申請スル際會員ノ權義等ニ關シテ從來實施セル別紙ノ細則ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十四條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十五條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十六條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十七條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十八條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第二十九條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十一條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十二條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

第三十三條 本會ハ總會ノ決議ヲ經タルモノト認定ス

二 東京高等師範學校校友會細則

第一章 目的

第一條 東京高等師範學校校友會ノ目的ハ會員ノ精神ヲ修養シ身體ヲ鍛練シ以テ校風ヲ振作シ併セテ相互ノ親睦ヲ厚ウスルニアリ

第二章 會員

第二條 本會々員ハ左ノ四種ヨリナル

名譽會員

贊助會員

特別會員

通シ常會員

第三條 特ニ本會ニ功勞アル人ハ名譽會員トナス

第四條 本校現在職員ヲ以テ贊助會員トナス

第五條 本校前職員及本校卒業生ヲ以テ特別會員トナス

第六條 本校生徒ヲ以テ通シ常會員トナス

第七條 通常會員ハ評議員ニ於テ別ニ定ムル所ノ會費ヲ納ムルモノトス
 第八條 通常會員ハ別ニ定ムル所ノ規定ニヨリ校友會基本金ヲ積立ツルモノトス
 第九條 通常會員ハ入會ノ際入會金壹圓五拾錢ヲ納ムルモノトス
 第十條 贊助會員ハ毎年贊助會員ノ會議ニテ定ムル所ノ割合ニヨリ本會通常經費ヲ寄附スルモノトス

第三章 會務分掌

第十一條 本會ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ十一部ヲ置ク

- 談話部
- 雜誌部
- 柔道部
- 劍道部
- 弓道部
- 徒歩部
- 庭球部
- 蹴球部

野球部
 短艇部
 游泳部
 第十二條 談話部ハ會員ノ演說討論談話會ヲ開キ及ヒ校外ノ名士ヲ招聘シテ演說講話ヲ乞フコトヲ掌ル
 第十三條 雜誌部ハ本會會誌ヲ發行シテ會務ヲ報告シ會員ノ論說文藝消息等ヲ公ニスルコトヲ掌ル
 第十四條 柔道以下ノ九部ハ各其名稱ニ應スル修練ヲ爲スモノトス

第四章 役員

第十五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一名
 副會長 一名
 幹事長 一名
 部長 十一名
 但シ一名ニテ二部以上ヲ兼ヌルコトヲ得

會計審査員 四名
 評議員 若干名
 幹事 五名
 主事 各部二名
 委員 各部若干名

但シ時宜ニヨリ臨時役員ヲ設クルコトアルヘシ

第五章 役員ノ選任

第十六條 會長ニハ本校校長ヲ推薦ス

第十七條 副會長幹事長及ヒ部長ハ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑ス

第十八條 會計審査員ハ評議員中ヨリ會長之ヲ依囑ス

第十九條 評議員ハ其十名ヲ贊助會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ其他ハ各學級ヨリ一名ツ、選

出ス

但シ研究科外國學生ヨリハ各學年ヨリ一名ツトス

評議員ハ幹事主事若シクハ委員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

贊助會員ノ評議員ハ部長ヲ兼ヌルコトヲ得

第二十條 幹事ハ通常會員ノ中ヨリ選出スルモノトス

第二十一條 各部主事ハ當該部委員中ヨリ互選スルモノトス

第二十二條 各部委員ハ本科各年級ヨリ二名宛專修科各年級ヨリ一名宛選出スルモノトス

第二十三條 臨時役員ハ贊助會員及ヒ特別會員中ヨリ會長之ヲ依囑シ若クハ通常會員中ヨ

リ幹事長之ヲ依囑ス

第六章 役員權限

第二十四條 會長ハ本會會務ヲ總理ス

第二十五條 副會長ハ會長ヲ補佐シ臨時必要ノ場合ニハ會長ニ代ツテ會務ヲ總理ス

第二十六條 幹事長ハ庶務及ヒ會計ノ事務ヲ統理ス

第二十七條 部長ハ當該部ノ事務ヲ統理ス

第二十八條 會計審査員ハ會計事務ヲ審査スルモノトス

第二十九條 會長副會長及ヒ評議員ハ評議員會ヲ組織シ第三十四條ニ定ムル事項ヲ議ス

第三十條 幹事ハ庶務會計ノ事務ヲ處理ス

第三十一條 主事及ヒ委員ハ當該部ノ事務ヲ處理ス

第三十二條 幹事長部長幹事及ヒ主事ハ主事會ヲ組織シ第三十七條ニ定ムル事項ヲ議ス

第七章 役員ノ任期

第三十三條 副會長幹事長部長會計審查員評議員幹事主事及ヒ委員ノ任期ヲ一ケ年トシ毎年十二月中ニ改選又ハ依囑ス

但シ翌年度豫算ノ決定卒業生送別會及ヒ第四十四條ニ關スル事項ヲ除クノ外ハ翌年三月ニ至ル迄舊役員各所定ノ任務ニ從事スルモノトス

役員ノ改選期ハ評議員會ノ決議ニヨリ會長ノ許可ヲ經テ一箇月以内變更スルコトヲ得

第八章 評議員會議

第三十四條 評議員會ノ決議スヘキ事項左ノ如シ

一 豫算ノ決定

一 本會豫算外支出ニ關スル件

一 本會規則ノ改正

一 其他特ニ重要ナル事項

但シ本條第一項豫算ノ決定ハ前以テ評議員ノ互選セル委員ノ審查ヲ經ルヲ要ス

第三十五條 評議員會ハ會長ヲ以テ議長トス

第三十六條 評議員會ノ議決ハ會長ノ許可ヲ經テ之ヲ執行スルモノトス

第九章 主事會議

第三十七條 主事會ノ議スヘキ事項左ノ如シ

一 豫算ノ編成

一 校友會大會、陸上大運動會、水上大運動會及ヒ卒業生送別會ニ關スル事項

一 第四十四條ニ關スル事項

一 本會會務ニシテ各部ニ通シテ關係スル事項

第三十八條 主事會ハ部長ノ一名ヲ以テ議長トス

第十章 會計

第三十九條 本會ハ會費寄附金及ヒ基本金ノ利子ヲ以テ歳入トシ一切ノ支出ヲ以テ歳出トス

第四十條 普通歳入ハ豫算會議ニ於テ之ヲ定ム

第四十一條 本會基本金ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十二條 豫算外臨時支出ヲ要スルトキハ評議員會ノ決議ヲ要ス

第四十三條 本會各部ノ細則ハ各部ニ於テ之ヲ定メ主事會ノ承認ヲ經ヘシ

第十一章 雜則

第四十四條 本會ニ功勞アルモノ及ヒ本會各部ニ於テ技能特ニ拔群ノモノニ對シテハ相當ノ方法ニヨリ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第四十五條 本會ノ贊助會員ニシテ本校ヲ去ルモノニハ紀念品ヲ贈呈スルコトアルヘシ

第四十六條 本會會員ニシテ死去シタルトキニハ吊詞或ハ吊慰金ヲ贈ルモノトス

第四十七條 本會ノ目的ヲ贊成シ寄附ヲ申込ム者アルトキハ會長ノ許可ヲ受ケ之ヲ受理スルコトアルヘシ

第四十八條 本會規則ヲ改正シ又ハ修正セントスルトキハ本會役員十名以上又ハ會員三十名以上ノ同意ニヨリ評議員會ニ提出スルコトヲ得

第三十八條 本會會長ハ本會ノ事務ヲ監督シ又ハ本會ノ利益ヲ保護スルコトヲ得

第三十九條 本會會長ハ本會ノ事務ヲ監督シ又ハ本會ノ利益ヲ保護スルコトヲ得

第四十條 本會會長ハ本會ノ事務ヲ監督シ又ハ本會ノ利益ヲ保護スルコトヲ得

第四十一條 本會會長ハ本會ノ事務ヲ監督シ又ハ本會ノ利益ヲ保護スルコトヲ得

第四十二條 本會會長ハ本會ノ事務ヲ監督シ又ハ本會ノ利益ヲ保護スルコトヲ得

第四十三條 本會會長ハ本會ノ事務ヲ監督シ又ハ本會ノ利益ヲ保護スルコトヲ得

三 校友會基本金規定

第一條 本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランカ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

第二條 基本金ハ本會通常會計ト區分シ特別會計ヲ設置ス

第三條 基本金原資ハ何等ノ事情アルモ之ヲ費消スルコトヲ得ス

第四條 基本金ヨリ生スル利子ハ本會通常會計ニ編入ス

第五條 基本金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ會長ニ於テ評議員會ニ諮詢シ之ヲ定ム

第六條 基本金ハ通常會員ノ贈金贊助會員並ニ特別會員ノ寄附金及ヒ本會會計剩餘金ヲ積立ツルモノトス

第七條 通常會員ハ基本金トシテ毎年九月中旬金一圓ヲ贈出スルモノトス

第八條 會員以外ノ者ヨリ基本金ノ中へ寄附ヲ申込ムトキハ會長ノ承認ヲ經テ之ヲ受納スルコトアルヘシ

第九條 基本金ニ關スル事務ハ本會會計之ニ任ス

第十條 基本金ニ關スル公告ハ校友會會誌ヲ以テス

第十一條 本規定ハ評議員ニ於テ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得更ニ贊助會員及通常會員
ノ總會ヲ開キ其出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ會長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ之ヲ變
更スルコトヲ得ス

前項評議員會及ヒ總會ハ少クモ一週間以前ニ開會ヲ豫告スルヲ要ス

第十二條 本規定ハ明治三十六年度ヨリ實施ス

四 校友會入會金規定

第一條 本會ノ基礎ヲ鞏固ニシ其發達ヲ圖ランタメ入會金ヲ蓄積ス

第二條 入會金ハ本會通常會計ト區別シ特別會計法ヲ設置ス

第三條 入會金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管シ其利殖ノ方法ハ會長會計審査委員ニ諮詢
シ之ヲ定ム

第四條 入會金原資及其利子ノ支出ハ評議員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス

第五條 此規定ハ明治三十八年度ヨリ施行ス

五 校友會特別資金規定

- 第一條 短艇(若クハ之ニ代ルモノ)ノ建造並ニ游泳部ノ擴張ノ爲メ各特別資金ヲ設ク
- 第二條 特別資金ハ本會通常會計ト區別シ特別會計ヲ設置ス
- 第三條 特別資金ハ毎年通常會計中ヨリ支出蓄積スルコトトシ其ノ額ハ豫算會議ニ於テ決定スルモノトス
- 第四條 特別資金ハ有價證券又ハ現金ヲ以テ保管ス
- 第五條 特別資金ヨリ生スル利子ハ該當金ニ繰込ムモノトス
- 第六條 特別資金ノ支出ハ評議員會ノ決議ヲ經ルヲ要ス
- 第七條 本規程ハ評議員會ノ決議ヲ經ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス
- 第八條 本規程ハ明治四十四年度ヨリ實施ス

六 役員選舉內規

- 第一條 本會細則第二十條ニ於ケル幹事選舉ハ次ノ規定ニヨル
本科三年二人、本科二年二人、專修科最上級一人トスルコト
- 第二條 本會細則第二十一條ニ於ケル各部主事ノ選舉ハ次ノ規定ニヨル
本科三年若クハ專修科最上級ヨリ一人、本科二年若クハ專修科最上級ニ亞ク學年ヨリ一人ヲ當該部委員中ヨリ互選スルコト
但特別ノ事情アル時ハ其部ニ限リ此例ニヨラサルコトヲ得其場合ハ事由ヲ具シテ主事會議ノ承認ヲ經ルヲ要ス
- 第三條 本會細則第二十二條各部委員選出ニ關スル規定中本科選出委員ニ限リ雜誌部ハ文科在學ノモノタルヘク他ハ文科在學、理科在學各一名ツツトス

五 校友會特別賞金規定

第一條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第二條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第三條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第四條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第五條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第六條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第七條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第八條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第九條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

第十條 校友會特別賞金ハ本會總會ニ於テ其ノ功績ノ著シキ者ニ對シテ之ヲ授ケルコトヲ以テス

六 委員選舉内規

第三 弔慰會

弔慰規約

(明治四十五年三月改定)

第一條 職員ハ弔慰ノ費用ニ充ツル爲メ毎年二回(四、十ノ月)各自俸給若ハ手當百分ノ一ヲ醵金スルモノトス

第二條 醵金ヲ支出スヘキ場合及其ノ金額標準ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一、本人死亡 金貳拾圓
- 一、父、母死亡、配偶者死亡、本人病氣(重症又ハ二ヶ月以上三ヶ月以下) 金拾圓
- 一、子(同戸籍内ノモノニ限ル)死亡、本校生徒死亡、校僕死亡 金五圓
- 一、現住宅災厄 金拾圓以内
- 一、校僕災厄 金五圓以内

第一條ノ醵金ヲ爲サ、ル職員及備外國人ニ對スル弔慰ニ關シテハ世話人ノ協議ニ依リテ之ヲ定ム(大正元年十月追加)

第三條 前條ノ弔慰金ハ場合ニ依リ當該金額ノ範圍内ニ於テ相當ノ物品ヲ贈ルコトアルヘシ

第四條 餘金ハ之ヲ確實ナル銀行ニ預金トシテ保管スルモノトス但シ五拾圓以内ノ金額ヲ
 支出備金トシテ現金ニテ保管スルコトヲ得
 第五條 餘金ニ不足ヲ生シタルトキハ臨時徴收スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ其
 ノ期日及金額ヲ豫メ總員ニ通知スルモノトス
 第六條 本校幹事、附屬學校主事、生徒監及本校教官二人並庶務會計兩課長ヲ世話人トシ
 テ本規約ノ施行ニ關スル一切ノ事務ヲ委囑スルモノトス
 第七條 世話人ハ毎年四月ニ於テ前年度ニ於ケル收支ノ決算報告ヲナスモノトス
 第八條 本規約ヲ改正スルニハ職員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルヲ要ス
 第九條 本規約ハ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス

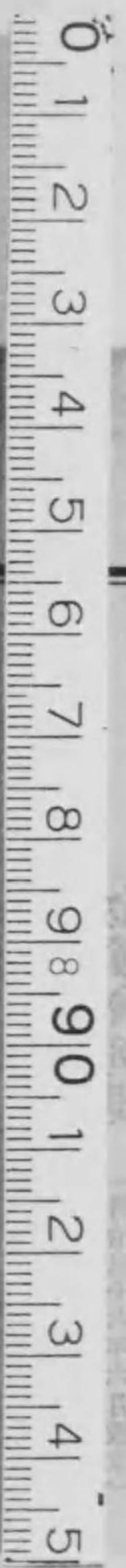
第二條 總員ニ支出スルハ本規約及其ノ金部事務ニ従フモノトス
 第一條 職員ハ本規約ニ従フモノトス
 第三條 本規約ハ明治四十五年四月一日ヨリ施行ス

第三 手続會

第四 金曜會

金曜會例規 (明治三十六年六月設立)

- 一、本會ハ職員ノ親睦ヲ目的トス
- 二、本會ハ主トシテ教授助教講師ヲ以テ會員トス
- 三、本會ニ常任幹事一名當番幹事四名ヲ置キ當番幹事ハ前回幹事ノ指名ニ依リ輪番交代ス
- 四、本會ハ毎年約五六回幹事ニ於テ適宜ノ時機ヲ見計ラヒ開會ス
- 五、會員ハ會費トシテ毎月金參拾錢ヲ齎出ス
- 六、前項ノ金額ハ毎月之ヲ積立テ置キ開會ノ節費用ノ補助ニ充ツ

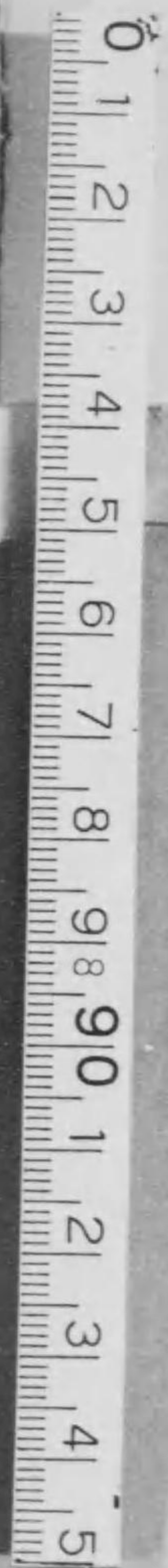


第五 東京高等師範學校概覽 (大正四年五月一日)

| 事項各部 | 本校 | | 附屬中學校 | 附屬小學校 |
|------|--|--|---|---|
| | 東京高等師範學校 | 東京高等師範學校附屬中學校 | | |
| 名 | 東京高等師範學校 | 東京高等師範學校附屬中學校 | 東京高等師範學校附屬中學校 | 東京高等師範學校附屬小學校 |
| 創立 | 明治五年九月 | 明治二十一年九月 | 明治二十一年九月 | 明治六年二月 |
| 目的 | 師範學校中學校高等女學校ノ校長及ヒ教員タルヘキ者ヲ養成ス | 一、中學校令ニ基キテ生徒ヲ教育ス 二、中學校教育ノ方法ヲ研究ス 三、師範生徒ヲシテ實地授業ヲ練習セシム | 一、中學校令ニ基キテ生徒ヲ教育ス 二、中學校教育ノ方法ヲ研究ス 三、師範生徒ヲシテ實地授業ヲ練習セシム | 一、小學校令ニ基キテ兒童ヲ教育ス 二、小學校教育ノ方法ヲ研究ス 三、師範生徒ヲシテ實地授業ヲ練習セシム |
| 位置 | 東京市小石川區大塚窪町 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 敷地 | 外二附屬農業實習地二、一九六坪 (内二階二、四四四坪) | 二、一七二坪 | 五三九坪 (内二階三二六坪) | 一、九七三坪 (内二階三五五坪) |
| 建物 | 洋書 八〇、五四六 和漢書 一三、二〇八 機器標本 一一、二五〇 器具標本 一〇、五〇二 | 洋書 六、一八六 和漢書 一、六三四 機器標本 一一、四九六 器具標本 二、六九五 | 洋書 八、四六三 和漢書 二、三三〇 機器標本 三、九五八 器具標本 三、八一七 | 洋書 八、二二三 和漢書 二、三三〇 機器標本 三、九五八 器具標本 三、八一七 |
| 校具 | 四九、二三四點 | 五、六六七點 | 九、一四三點 | 九、一四三點 |
| 職員 | 一二八名 校長 一 主任 一 事務員 九 教員 九七 | 三四名 主任 一 事務員 三 教員 三〇 | 二五名 主任 一 教員 二四 | 二五名 主任 一 教員 二四 |
| 學生 | 六六一名 豫修科 一二 專修科 九二 外國學生 七三 | 三七二名 | 七〇一名 第一部 二四 第二部 二九 第三部 一六 | 七〇一名 第一部 二四 第二部 二九 第三部 一六 |
| 學科 | 文科 (四年) 理科 (四年) 體育科 (四年) 本(舊規則)科 (三年) 專修科 (三年) 撰修科 (二年) 研究科 (一年) | 中學校 (五年) | 第一部 尋常小學科 第二部 高等小學科 (二年) 第三部 尋常小學科 補習科 (二年) | 第一部 尋常小學科 第二部 高等小學科 (二年) 第三部 尋常小學科 補習科 (二年) |
| 訓練 | 寄宿會ニ於ケル訓育 學級主任ノ誘掖指導 儀式、講演會等ノ施行 校友會各部事務ノ練習及事業ノ實施 | 訓育主任及學年擔任ノ誘掖指導 儀式、學級會等ノ施行 訓育內規及ヒ各學年訓育要項ノ實施 桐陰會各部事務ノ實施 家庭トノ協同 | 訓練要目ノ實施 兒童ノ作業 學級主任ノ誘掖指導 儀式、講演會等ノ施行 家庭トノ協同 | 訓練要目ノ實施 兒童ノ作業 學級主任ノ誘掖指導 儀式、講演會等ノ施行 家庭トノ協同 |
| 休業日 | 春期休業 (自四月十一日) 夏期休業 (自七月十一日) 冬期休業 (自十二月二十五日) 祝日、大祭日 | 春期休業 (自四月十一日) 夏期休業 (自七月十一日) 冬期休業 (自十二月二十五日) 祝日、大祭日 | 春期休業 (自四月十一日) 夏期休業 (自七月十一日) 冬期休業 (自十二月二十五日) 祝日、大祭日 | 春期休業 (自四月十一日) 夏期休業 (自七月十一日) 冬期休業 (自十二月二十五日) 祝日、大祭日 |
| 經費 | 一五二、六四二圓 | 一七、〇八四圓 | 一五、七二六圓 | 一五、七二六圓 |
| 卒業生 | 外二特別學生四名外國學生八七名 三、六一七名 | 外二聽講生一名 一、〇二三名 | 四、四〇二名 | 四、四〇二名 |

第六 東京高等師範學校圖書增加累年比較表(自明治三十三年度至大正三年度)

| 年度 | 和漢洋書部 | | 洋書部 | | 計 |
|------------|--------|-------|-------|--------|--------|
| | 冊數 | 部數 | 冊數 | 部數 | |
| 明治三十三年度未現在 | 10,823 | 6,447 | 4,407 | 6,651 | 15,680 |
| 明治三十四年度未現在 | 10,865 | 6,645 | 4,481 | 7,390 | 15,553 |
| 明治三十五年度未現在 | 11,403 | 6,933 | 5,355 | 8,048 | 16,657 |
| 明治三十六年度未現在 | 11,941 | 7,033 | 5,451 | 8,445 | 17,333 |
| 明治三十七年度未現在 | 12,090 | 7,133 | 5,540 | 8,933 | 17,880 |
| 明治三十八年度未現在 | 12,306 | 7,199 | 5,619 | 9,445 | 18,295 |
| 明治三十九年度未現在 | 12,519 | 7,279 | 6,123 | 9,744 | 18,742 |
| 明治四十年度未現在 | 12,844 | 7,353 | 6,544 | 10,588 | 19,466 |
| 明治四十一年度未現在 | 13,256 | 7,427 | 6,933 | 11,056 | 20,179 |
| 明治四十二年度未現在 | 13,677 | 7,497 | 7,319 | 11,551 | 20,867 |
| 明治四十三年度未現在 | 14,095 | 7,555 | 7,553 | 11,846 | 21,047 |
| 明治四十四年度未現在 | 14,517 | 7,629 | 7,844 | 12,171 | 21,372 |
| 大正元年度未現在 | 16,033 | 8,133 | 8,333 | 12,511 | 24,321 |
| 大正二年度未現在 | 16,441 | 8,299 | 8,747 | 12,833 | 25,377 |
| 大正三年度未現在 | 16,844 | 8,376 | 9,140 | 13,144 | 26,059 |



第七 東京高等師範學校經費累年比較表 (自明治六年度至大正四年度)

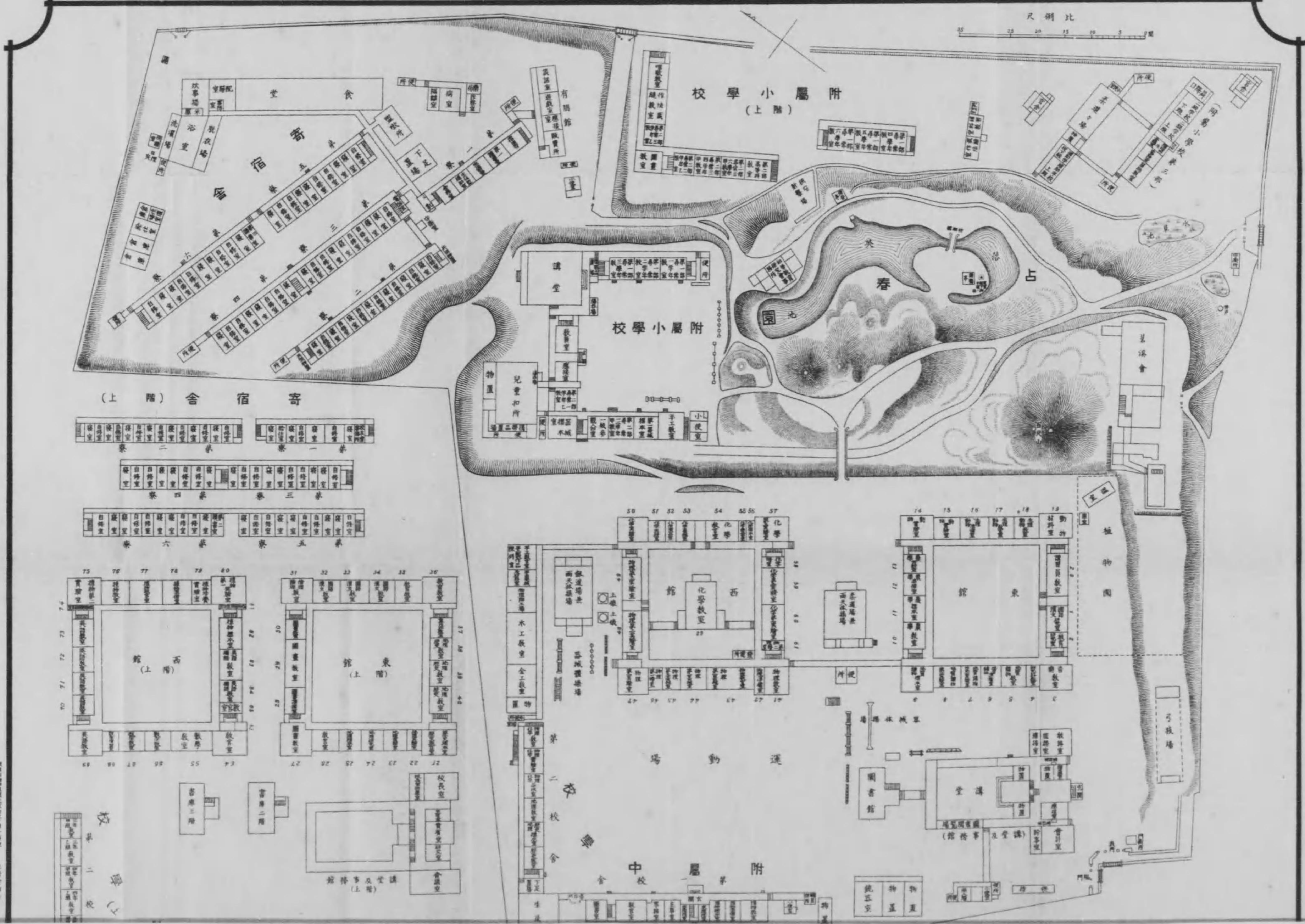
| 年 度 | 俸 給 | 校 館 費 | 應費及修繕費 | 雜給及雜費 | 備外國人諸給 | 合 計 |
|---------|---------|--------|--------|-------|--------|---------|
| 明治六年度 | | | | | | 二〇、五三三 |
| 明治七年度 | | | | | | 三〇、四〇二 |
| 明治八年度 | | | | | | 二五、一一五 |
| 明治九年度 | | | | | | 四四、三三九 |
| 明治十年度 | | | | | | 三五、九五七 |
| 明治十一年度 | | | | | | 四三、一二六 |
| 明治十二年度 | | | | | | 三八、八三〇 |
| 明治十三年度 | | | | | | 三二、七六九 |
| 明治十四年度 | | | | | | 三四、一三六 |
| 明治十五年度 | | | | | | 三七、五六八 |
| 明治十六年度 | | | | | | 四九、二五〇 |
| 明治十七年度 | | | | | | 五六、一八七 |
| 明治十八年度 | | | | | | 五七、七三四 |
| 明治十九年度 | | | | | | 六一、八六二 |
| 明治二十年度 | | | | | | 六二、六一二 |
| 明治二十一年度 | | | | | | 五八、六九五 |
| 明治二十二年度 | | | | | | 五五、四七九 |
| 明治二十三年度 | 二六、二五二 | 四、八一三 | 九、六四三 | | 二、四〇〇 | 四三、一〇八 |
| 明治二十四年度 | 二七、六四八 | 三、六二九 | 九、三七一 | | 〇 | 四〇、四六八 |
| 明治二十五年度 | 二七、六六四 | 三、一一〇 | 九、六六七 | | 〇 | 四〇、四四一 |
| 明治二十六年度 | 二九、七二一 | 三、九五三 | 八、二一四 | | 〇 | 四一、八八八 |
| 明治二十七年度 | 二九、八九三 | 四、七七四 | 八、一八九 | | 〇 | 四一、八八六 |
| 明治二十八年度 | 三二、二七七 | 六、二一一 | 九、九一五 | | 一、九二七 | 四七、九四六 |
| 明治二十九年度 | 三三、二七七 | 七、八四九 | 一一、四一六 | | 二、四〇〇 | 五四、九四二 |
| 明治三十年度 | 四四、四三〇 | 一一、三八二 | 一七、五〇〇 | | 五、五三六 | 七九、八四八 |
| 明治三十一年度 | 五一、〇四七 | 一六、〇六〇 | 二七、六七七 | | 六、六〇〇 | 一〇一、三八四 |
| 明治三十二年度 | 七四、一〇四 | 二二、七〇七 | 三八、一〇五 | | 九、〇〇〇 | 一四三、九一六 |
| 明治三十三年度 | 七七、四六四 | 二七、五四五 | 四三、一七八 | | 九、一〇〇 | 一五七、二八七 |
| 明治三十四年度 | 八一、九〇五 | 三一、四五七 | 五四、五九七 | | 八、九九〇 | 一七六、九四九 |
| 明治三十五年度 | 八七、四六九 | 三四、二二一 | 六四、四六〇 | | 八、九七六 | 一九五、一二六 |
| 明治三十六年度 | 八七、五一三 | 三四、二八七 | 六六、九四一 | | 九、三七六 | 一九八、一一七 |
| 明治三十七年度 | 八八、四一四 | 三四、二六六 | 六〇、六一三 | | 八、五七七 | 一九一、八七〇 |
| 明治三十八年度 | 八七、一〇四 | 三〇、九一八 | 五二、六二七 | | 八、七一九 | 一七九、三六八 |
| 明治三十九年度 | 八八、五七五 | 三四、九六九 | 四九、二五九 | | 九、八八九 | 一八二、六九二 |
| 明治四十年度 | 九一、一八一 | 三五、七六〇 | 四五、八六一 | | 九、七〇〇 | 一八二、五〇二 |
| 明治四十一年度 | 九一、二六四 | 三九、九三八 | 四六、九七〇 | | 八、六二四 | 一八六、七九六 |
| 明治四十二年度 | 九〇、四二五 | 四〇、五五五 | 四六、三二二 | | 八、七〇〇 | 一八六、〇〇二 |
| 明治四十三年度 | 一〇七、七九五 | 四三、三九〇 | 五一、八一 | | 八、七〇〇 | 二一一、六九六 |
| 明治四十四年度 | 一一〇、四二一 | 四五、七六三 | 五一、三七四 | | 九、〇〇〇 | 二一六、五五八 |
| 大正元年度 | 一一二、五五六 | 四六、六八二 | 五四、七七五 | | 九、八〇六 | 二二三、八一九 |
| 大正二年度 | 一一〇、三七八 | 四一、九九三 | 四七、七四九 | | 九、〇〇〇 | 二〇九、一二〇 |
| 大正三年度 | 一〇九、三六三 | | 七八、一三四 | | 六、〇〇〇 | 一九三、四九七 |
| 大正四年度 | 一〇九、一六〇 | | 七〇、二八三 | | 六、〇〇〇 | 一八五、四四三 |

備考
 一、二十二年度以前ノ經費内譯ハ明ラカナラサルニ付之ヲ省ク
 一、本表ハ各年度ノ經常費決算額(大正四年度ハ豫算額)ヲ掲ク
 一、各科目中主ナル費途左ノ如シ

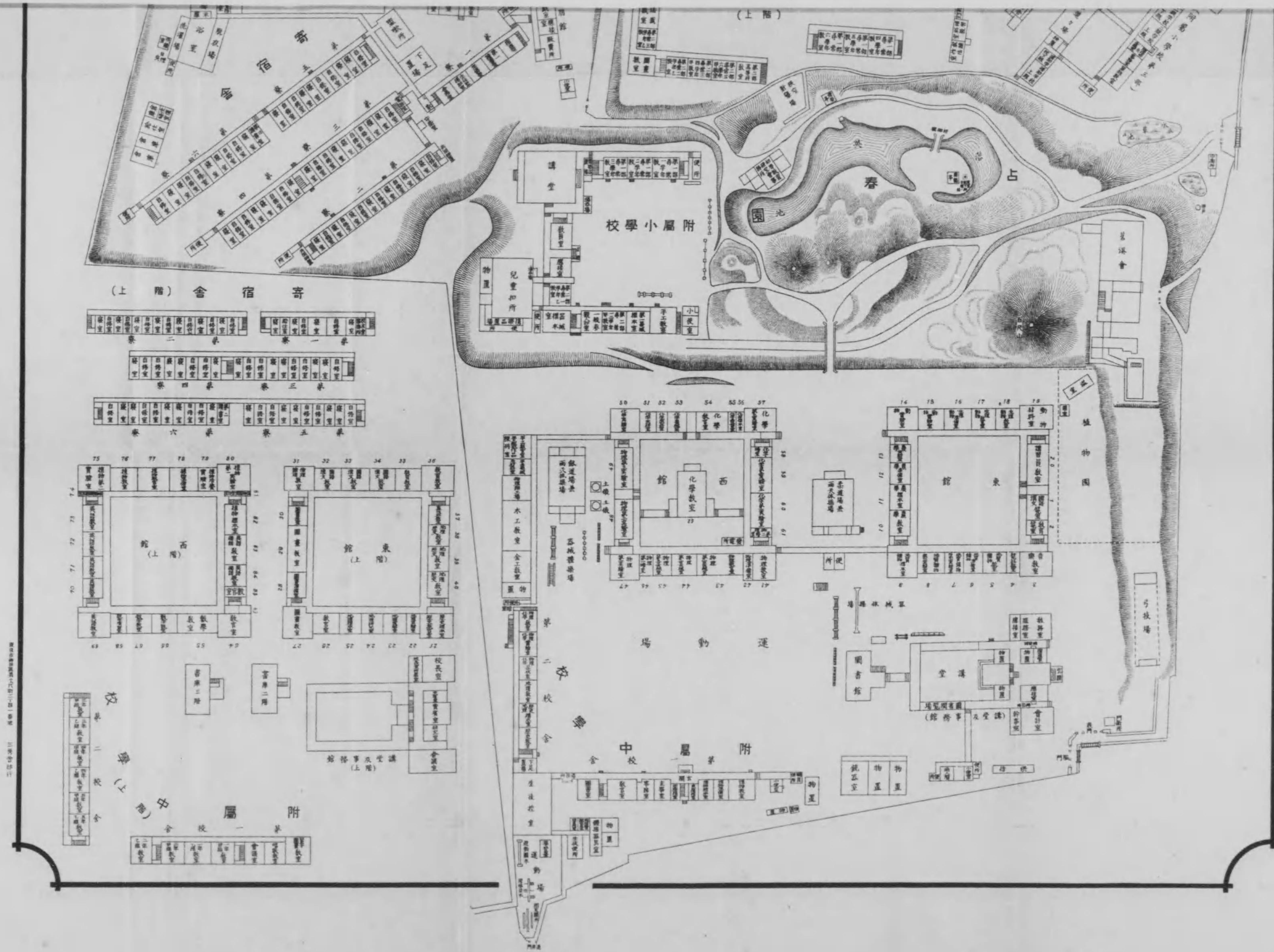
俸 給 (教官、講師及事務官ノ俸給) 廳 費 (圖書、機械、標本、器具、消耗品ノ費額、寄宿舍費、印刷費、通信費ノ類) 雜給及雜費 (旅費、學費、修學旅行費、雇員及傭人ノ給料等)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

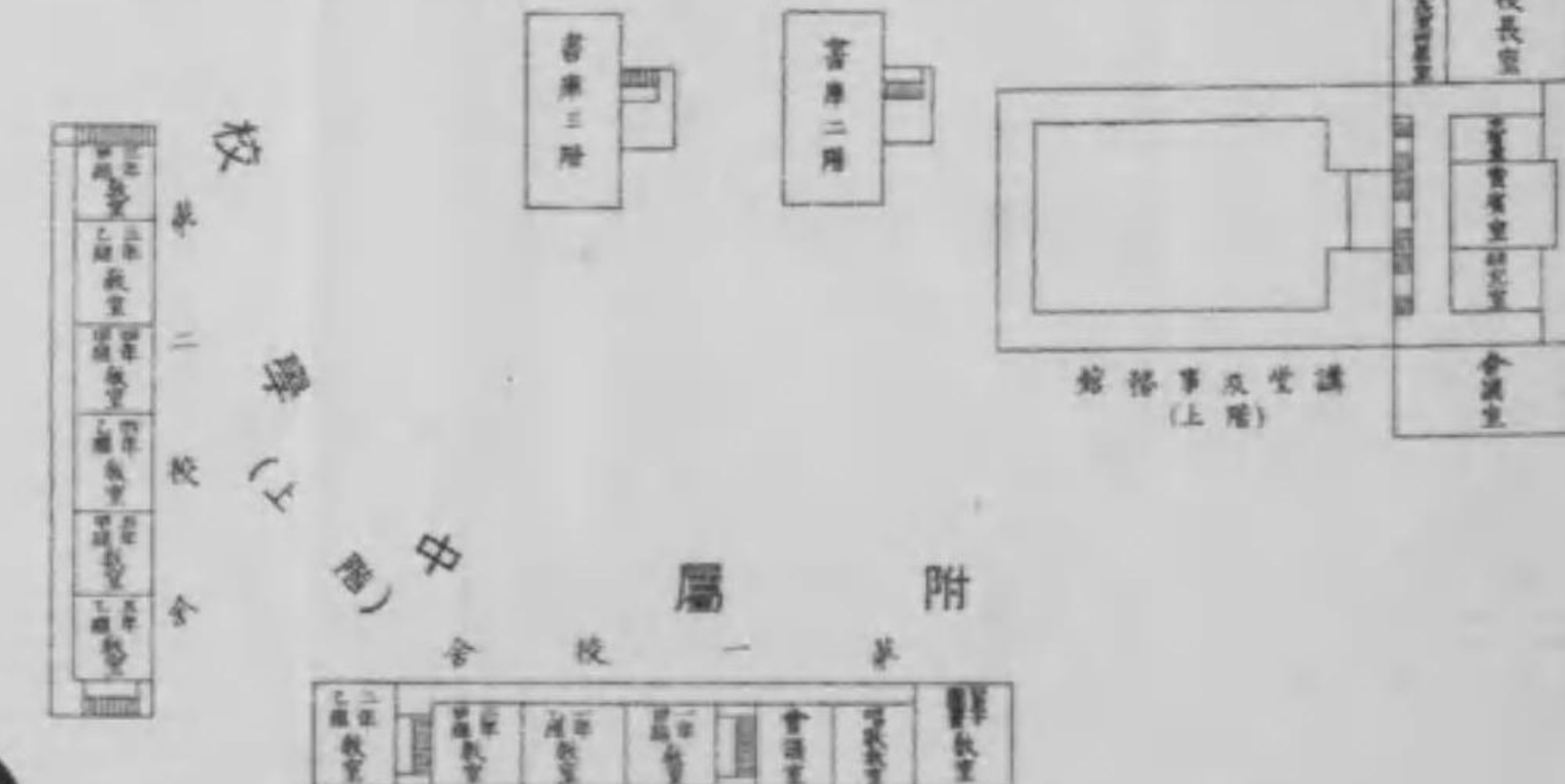
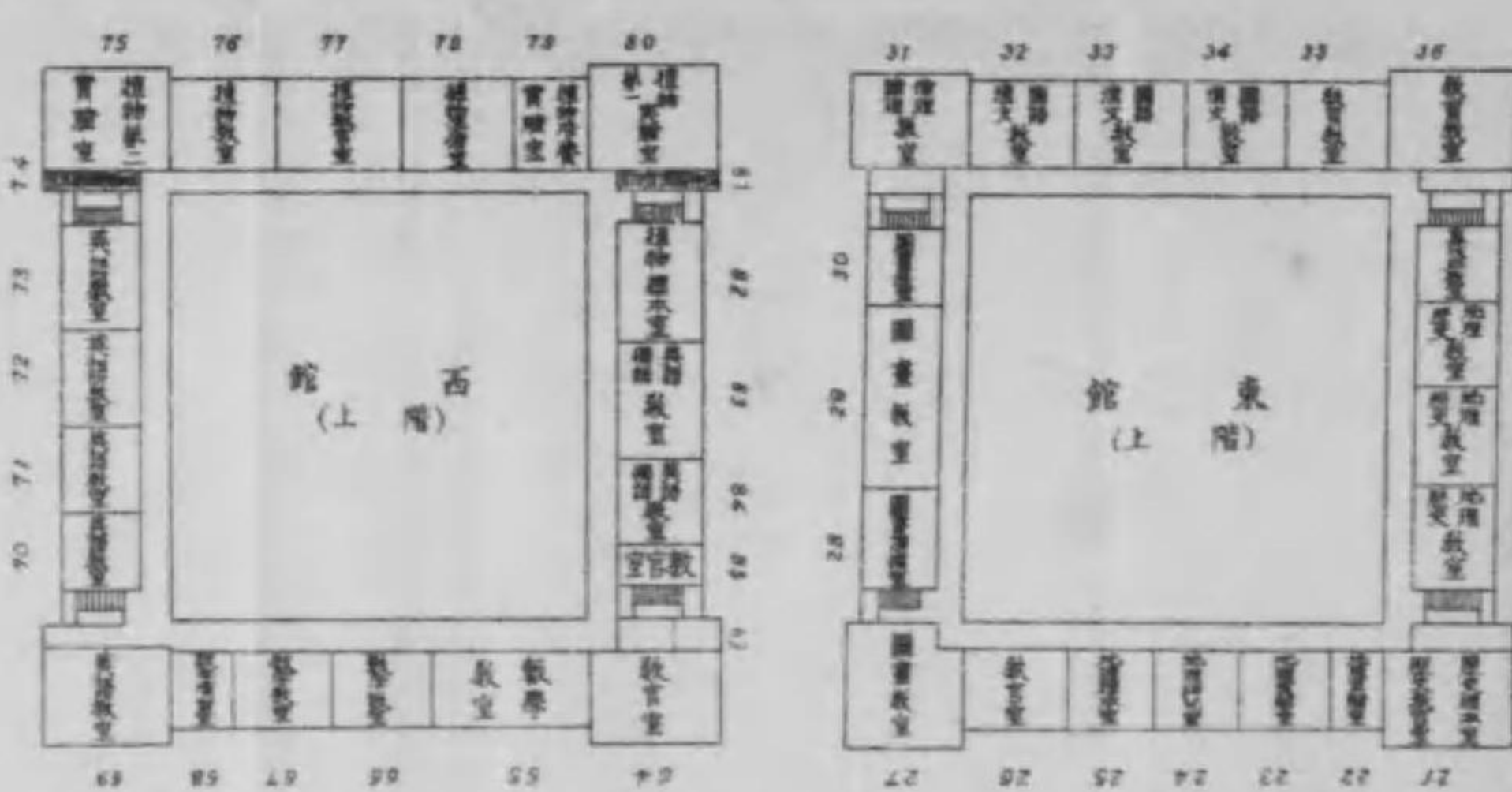
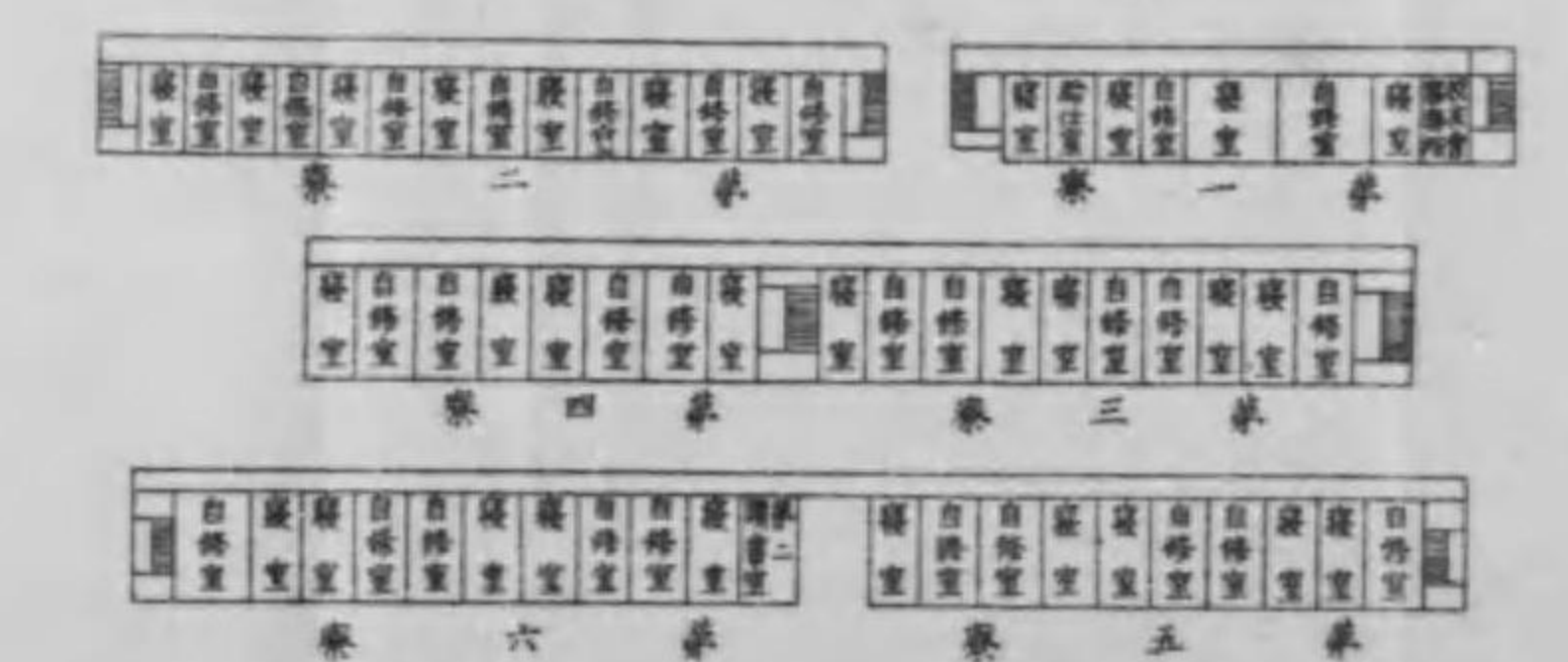
東京高等師範學校略圖 (町窪塚大區川石小) 地建坪二萬五千五百八十八坪 地建坪二萬五千五百七十二坪 地建坪二萬五千五百八十二坪



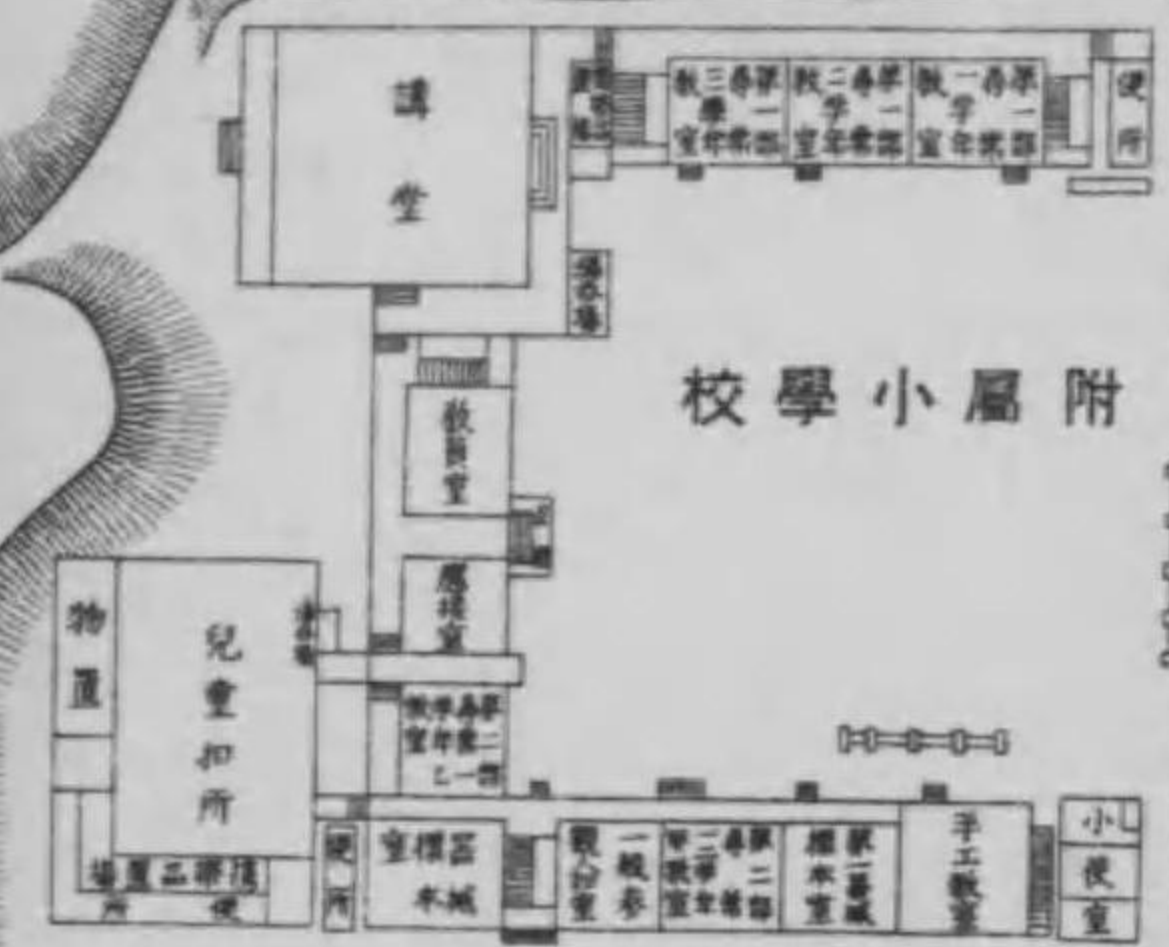
東京高等師範學校建築設計事務所 建築設計



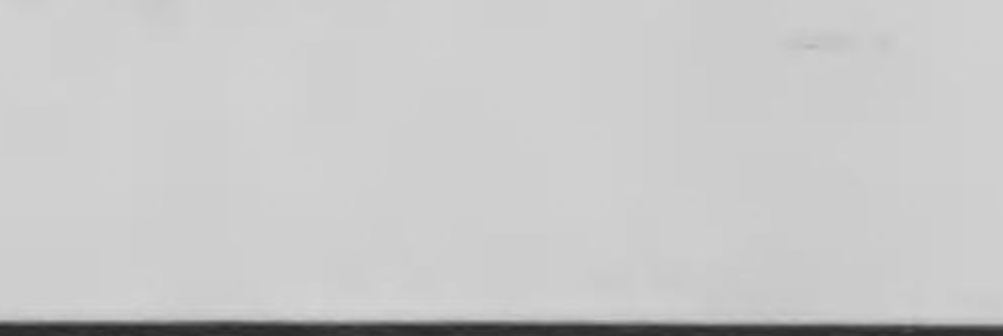
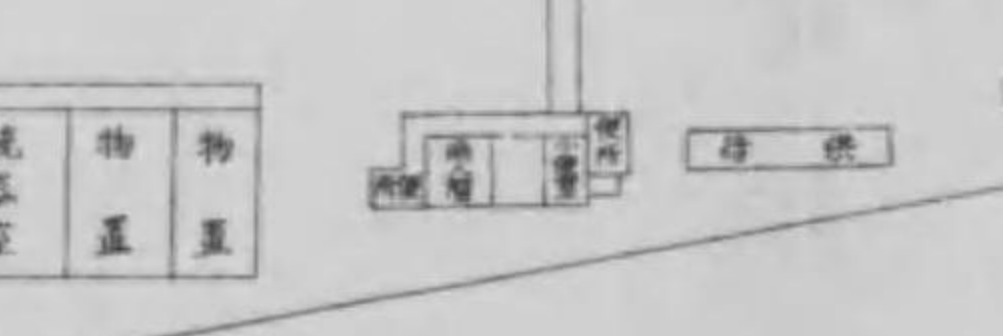
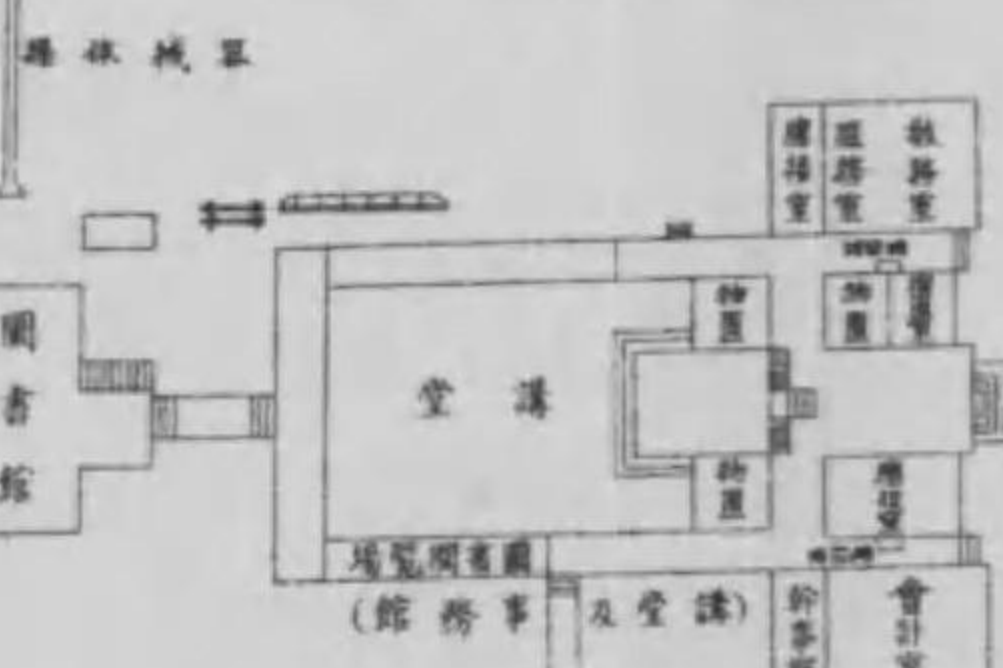
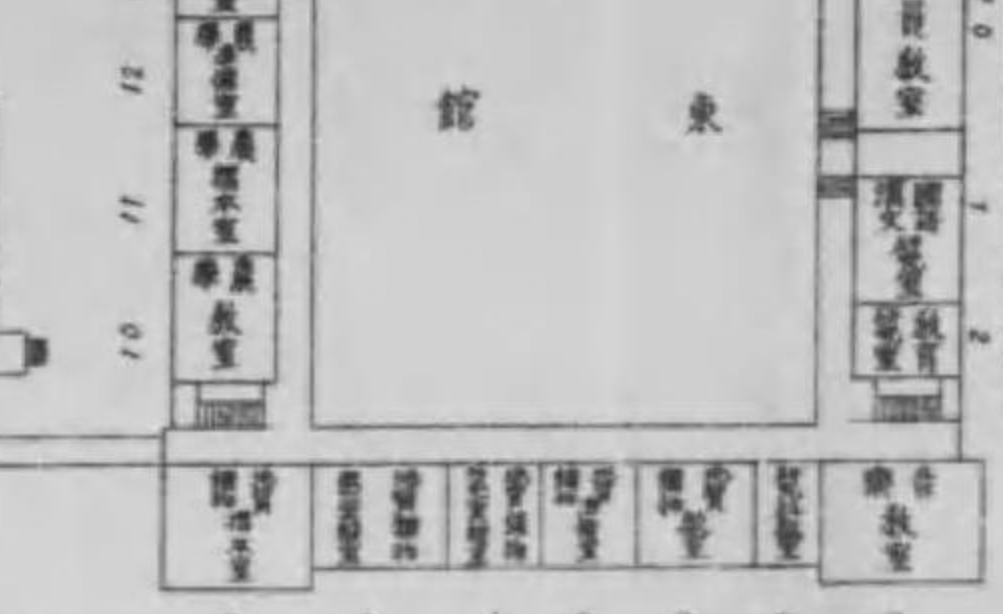
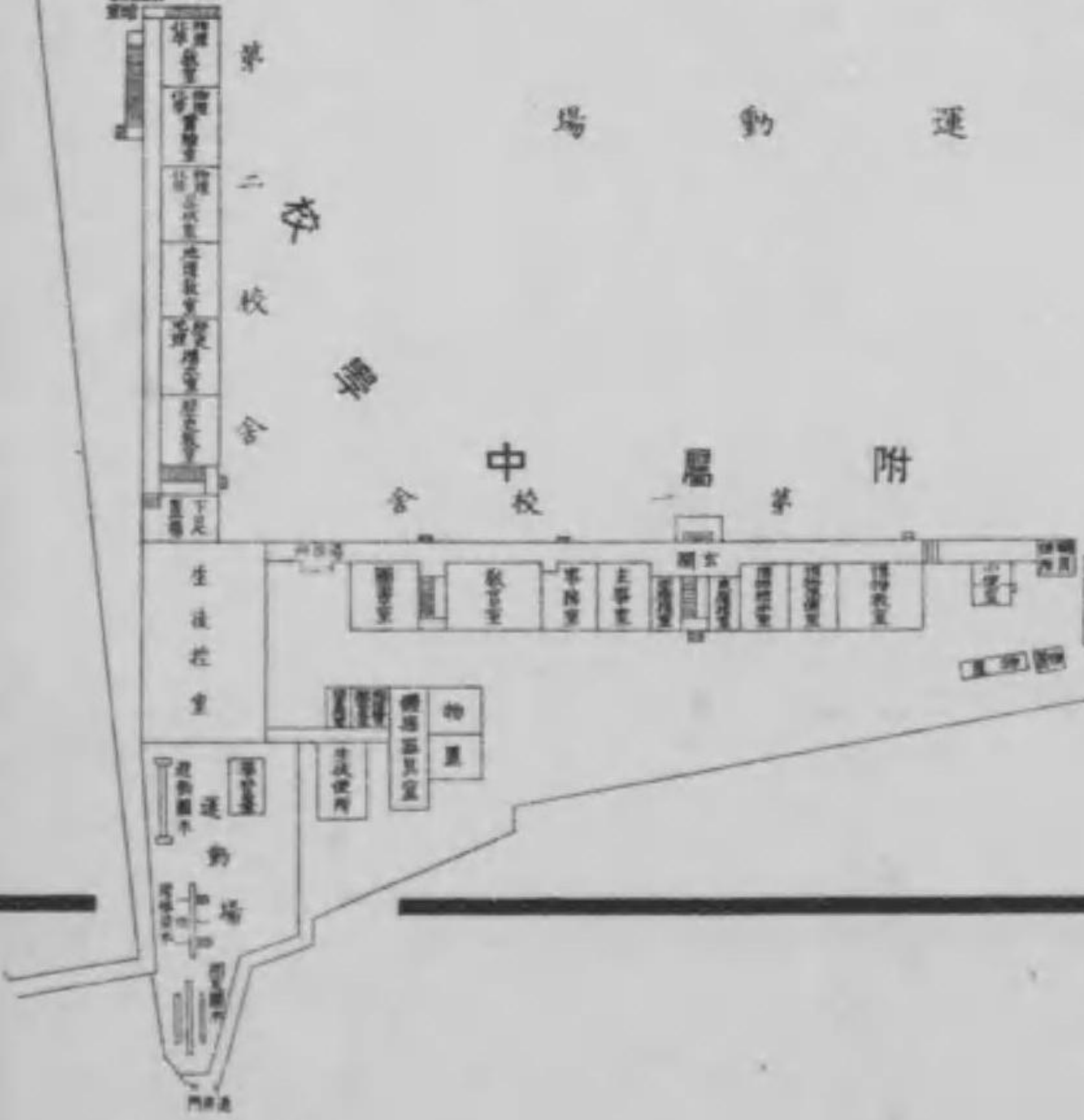
(上階) 舍宿寄



校學小屬附



附屬中學校



附屬中學校

附屬中學校

大正四年十二月廿四日印刷
大正四年十二月廿七日發行

東京高等師範學校

印刷者

東京市神田區美土代町二丁目一番地
島 連太郎

印刷所

東京市神田區美土代町二丁目一番地
三 秀 舍

賣捌所

東京市日本橋區通三丁目十四番地
丸善株式會社

同

大阪市東區博勞町四丁目
丸善株式會社支店

同

京都市三條通麩屋町西へ入ル
丸善株式會社支店

電話
本 寄 附 附
宿 宿 宿 宿
校 校 舍 校
番 番 番 番
二 一 一 二 七
〇 四 六 一 二 七
一 三 五 八 九 一
四 〇 〇 八 九 六

終